地上・BS・110度CSデジタルハイビジョン液晶テレビ

PRODIA 取扱説明書

このたびは、地上・BS・CS デジタルハイビジョン液晶テレビ「PRD-LJ132B」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

型番：PRD-LJ132B

地上デジタル　地上アナログ　BSデジタル　110度CSデジタル

外付けハードディスク録画　データ放送受信

205000144-1

目次

はじめに

テレビを見る

録画再生する

テレビの設定

外部機器との連携

お役立ち情報

- 本書では地上デジタル放送、BS デジタル放送、110 度 CS デジタル放送を総称して「デジタル放送」と表記しています。
- 本書では 110 度 CS デジタル放送を「CS デジタル放送」、地上アナログ放送を「アナログ放送」と表記しています。
- 本書で使用している画像は製品開発中の画面であり、実際とは異なる場合があります。
- 本書の内容の一部、およびすべてを無断で転載することは禁じられています。

安全上のご注意

本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を説明しています。

禁止　行為を禁止する記号です。このマークの事項はしてはいけません。

指示　行為を指示する記号です。このマークの事項は必ずしてください。

警告

火災や感電などにより、死亡または重傷を負う可能性がある内容です。

設置について

禁止

振動や衝撃がある場所や、傾斜しているなど、不安定な場所に置かない。
➡転倒または落下し、故障やけがの原因になります。

本製品の上にものを置いたり、本体の通風孔をふさがない。
➡内部温度が上昇したり、液体や金属類が内部に入ると、火災・感電・故障の原因になります。

船舶や自動車など、乗り物の中で使用しない。
➡転倒して、けがの原因になります。

壁掛けでの使用はしない。
➡本製品は壁掛けには対応していません。落下するなどして、故障やけがの原因になります。

指示

屋外アンテナの設置や工事は専門業者に依頼する。
➡感電やけがのおそれがあります。設置・工事は電器店やアンテナ設置業者などに相談してください。

電源ケーブルの取り扱いについて

禁止

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や交流 100V 以外での使用はしない。
➡たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

電源ケーブルを熱器具に近づけたり、破損させたりしない。
➡火災・感電の原因になります。

指示

異音、異臭、煙が出ている場合や、故障や破損している場合は、本体に触れずに電源プラグをコンセントから抜く。
➡火災、感電、故障の原因になります。修理・点検はお買い求めいただいた販売店、または弊社ユーザーサポートセンターまでご相談ください。

本製品に付属の電源ケーブルを使用する。
➡火災や感電、故障の原因になります。電源ケーブルが破損したときは、弊社ユーザーサポートセンターまでご相談ください。

何か異常が起こったときに、すぐに電源プラグを抜けるように設置する。
➡火災の原因になります。修理・点検はお買い求めいただいた販売店、または弊社ユーザーサポートセンターまでご相談ください。

電源プラグのほこりなどは、定期的に掃除する。
➡火災の原因になります。電源プラグはコンセントから抜いて、乾いた布でふいてください。

本体の取り扱いについて

禁止

本製品の分解や改造、修理などは絶対にしない。
➡火災や感電、故障の原因になります。修理は弊社ユーザーサポートセンターまでご相談ください。

本製品の内部に指や物を入れない。
➡けがや感電、故障の原因になります。

本製品に熱器具に近づけたり、破損させたりしない。
➡火災・感電の原因になります。

本製品を水につけたり、濡れた手で触れない。
➡感電や故障の原因になります。

雷鳴が聞こえたときは、本製品に触れたり使用しない。
➡感電の原因になります。

 指示	本製品の表面が破損したときは、電源プラグをコンセントから抜くまで、本製品に触らない。また、目や口に液晶を入れたり、ガラスの破片に触らない。 ➡けが・中毒・かぶれの原因になります。もれた液晶が誤って目や口に入ったときは、すぐに水で洗い流し、医師にご相談ください。

リモコンの電池について

 禁止	電池が液もれしているときは、素手で触らない。 ➡皮膚の炎症や失明の原因になるおそれがあります。電池からもれた液が皮膚や衣服に付着したときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。
指示	電池を使い切ったときや、長時間使わないときは、電池を取り出す。 ➡電池を入れたままにしておくと、過放電により液がもれ、故障・火災・けがや周囲を汚損する原因になります。
	電池の取り扱いは以下のことを守る。 • 単４形（1.5V）以外の電池は使用しない。 • 正しい極性（＋／－）でセットする。 • 使用推奨期限が過ぎた電池や、使い切った電池は使用しない。 • 種類の違う電池、新しい電池と使用した電池を併用しない。 ➡液もれや破裂などによって、やけど・けがの原因になります。

注意

感電・その他事故などにより、けがをしたり周辺の物品に損害を与える可能性がある内容です。

禁止	直射日光が当たったり、極度に温度が高い場所に置かない。 ➡火災・故障の原因になります。
	風通しが悪い場所や、引火の恐れがある場所に置かない。 ➡内部温度が上昇し、火災・故障の原因になります。
	ほこり・油煙・湿気の多い場所に置かない。 ➡火災・感電の原因になります。
	液晶画面を強く指で押したり、物を投げつけたりしない。 ➡ガラスが割れて、けがの原因になります。
 指示	小さなお子様の手が届かない場所に設置する。 ➡けがの原因になります。
	本製品を運ぶときは、接続されているケーブル類をすべてはずし、ぶつけたりして衝撃を与えないように注意する。 ➡転倒または落下し、故障やけがの原因になります。
	本製品に付属の電源ケーブルを使用する。 ➡火災や感電、故障の原因になります。電源ケーブルが破損したときは、弊社ユーザーサポートセンターまでご相談ください。
	長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く。 ➡電源プラグにほこりがたまり、火災や感電の原因になります。
	内部の掃除は弊社または販売店に依頼する。 ➡内部にほこりがたまると火災・故障の原因となることがあります。3年に1度は内部の掃除を弊社ユーザーサポートセンターまたは販売店にご相談ください。

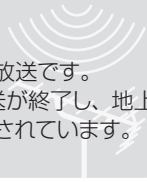
使用上のご注意

本製品でできること

■ 放送の受信

以下の放送を受信できます。

地上デジタル放送

地上の無線局を通じて送信されるデジタル放送です。
2011年7月24日に従来のアナログ放送が終了し、地上デジタル放送に完全移行することが予定されています。

BSデジタル放送

放送衛星（Broadcast Satellite）を使ったデジタル放送です。
受信には対応のパラボラアンテナが必要です。

アナログ放送

地上の無線局を通じて送信される放送です。
2011年7月24日に終了する予定です。

CSデジタル放送

通信衛星（Communication Satellite）を使ったデジタル放送です。受信には対応のパラボラアンテナおよび放送事業者との受信契約が必要です。

■ 番組の録画・再生

ハードディスクを接続して、デジタル放送の番組を録画することができます。デジタル放送の番組表で番組を選ぶだけで簡単に予約したり、時間帯を指定して毎日／毎週録画することもできます。

知っておいていただきたいこと

✔ かならず正面から視聴してください

テレビは正面から視聴してください。見上げるような角度で視聴すると画面が暗く見えます。また、テレビを設置するときは目の高さと同じ位置に設置してください。

✔ 本体が熱くなる場合があります

長時間使用すると、放熱のため本体が熱くなる場合があります。

✔ アナログ放送が映らなくなります

アナログ放送の終了にともない、2011年7月24日をもって地上およびBSのアナログテレビ放送の受信や設定ができなくなります。故障ではありませんので注意してください。

✔ ハードディスクの制限事項

- 付属のハードディスクは本機専用です。パソコンなど本機以外の機器に接続して、録画した番組を再生することはできません。また、本機以外の機器で使用した場合の動作は保証いたしかねます。
- 他の機器で録画した番組を本機で再生することはできません。
- ハードディスクの故障などによる録画済みの番組の保証はいたしかねます。
- USBハブを経由した接続には対応していません。
- テレビ本体やハードディスクの修理および交換をした後は、録画していた番組を再生できません。録画番組の保証はいたしかねます。

✔ その他の知っておいていただきたいこと

- 本製品は日本国内での使用を前提に設計されています。故障や感電などの事故を引き起こすおそれがありますので海外では使用しないでください。
- 液晶パネルは非常に精密な技術で作られており、画素欠けや常時点灯する画素を完全になくすことができません。画面上に常時点灯する点（輝点）や黒い点（滅点）がある場合がありますが、製品の不良ではないことをご了承ください。

守っていただきたいこと

✔ 必要のない限り B-CAS カードは抜かないでください

B-CAS カードは番組の著作権保護などのためデジタル放送の視聴に必要なIC カードです。B-CAS カードがないとデジタル放送を見ることができません。本機が通電している状態でカードを抜くと、放送を受信できなくなる場合があります。B-CAS カードを本機から取り出す必要があるときは、本機の電源ケーブルをコンセントから抜いた後に取り出してください。また、取り付けるときは、カードをさしてから電源ケーブルを接続してください。

✔ 録画予約があるときは電源ケーブルを抜かないでください

録画予約がある状態で、本機の電源ケーブルをコンセントから抜くと録画は実行されません。録画予約があるときは、かならず電源ケーブルを接続しておいてください。

✔ 録画中はハードディスクの接続を解除しないでください

録画したデータの処理中はハードディスクを取り外したり、本機の電源ケーブルを抜いたりしないでください。録画したデータが破損して再生できない場合があります。

✔ 画面の焼き付きに注意してください

長時間同じ画面を表示し続けると、部分的に消えない焼き付き（残像）が発生します。長時間同じ画面を表示することは極力避けてください。また、画面比率が 4：3 の映像を長時間表示すると 16:9 の映像を表示したときに両側に輝度が異なる部分ができることがあります。できるだけフルスクリーンでお使いください。

✔ 壁掛けでの使用はできません

本製品は壁掛けでの使用には対応していません。無理な壁掛けでの設置は、落下などによる事故や故障を招くおそれがありますのでしないでください。

✔ 廃棄するときはルールを守って

本製品および本製品の梱包箱（緩衝材を含む）を廃棄する場合は、お住まいの地方自治体の条例や規則にしたがってください。

✔ その他の守っていただきたいこと

- 「安全上のご注意」(P.4）の指示にしたがって正しく使用してください。
- 視力の低下を防ぐため、視聴時は画面と適度な距離をあけ、部屋を明るくしてお楽しみください。
- 周囲の人の迷惑にならないように適度な音量でお楽しみください。また、ヘッドホンを使用する場合は、大音量で必要以上に耳を刺激しないように注意してください。

テレビを見るときの基本操作

電源を入れる

電源 を押します。

※ テレビをつけるときは、かならず電源ケーブルがコンセントにささっていることを確認してください。

※ 映像が表示されるまで数秒かかります。

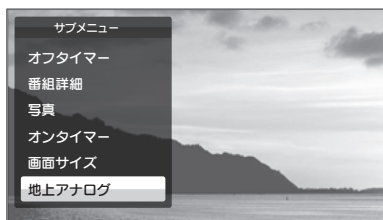
※ もう一度ボタンを押すと、テレビが消えます。

放送波を切り換える

■ 地上デジタル放送 → 地デジ を押します。

■ BS デジタル放送 → BS を押します。

■ CS デジタル放送 → CS を押します。

■ アナログ放送 → サブメニュー を押してから、▲ ▼ で [地上アナログ] を選んで 決定 を押します。

※ BS/CS デジタル放送のご利用には、対応のパラボラアンテナの設置や放送事業者との個別契約などが必要です。

※ 地上および BS のアナログテレビ放送は、2011年7月24日に終了する予定です。

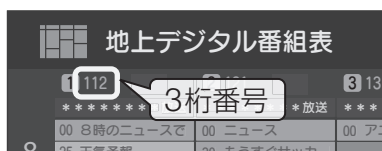
チャンネルを切り換える

1 ～ 12 または チャンネル を押します。

3 桁チャンネル番号を使ってチャンネルを切り換えることもできます。

3桁入力 を押して 1 ～ 10/0 で番号を入力します。

※「0」を入力するときは 10/0 を押してください。

※ 3 桁チャンネル番号は番組表で確認できます。

音量を調節する

■ 調節する → 音量 を押します。

■ 消音する → 消音 を押します。

※ もう一度ボタンを押すと音が出ます。

その他の操作

■ 字幕を表示する

デジタル放送では番組の音声などを字幕として表示することができます。

字幕 を押します。

※ もう一度ボタンを押すと字幕が消えます。複数の言語で字幕が提供されている番組の場合は言語が切り換わります。

※ 字幕に対応しているデジタル放送の番組でのみ利用できます。

■ 音声を切り換える

2 ヶ国語放送などのように、番組が複数の音声で放送されている場合は、音声を切り換えることができます。

音声切換 を押します。

※ 押すたびに音声が切り換わります。

■ 画面を静止する

放送中の番組画面を静止することができます。懸賞の応募先や料理番組のレシピなどをあわてずにメモすることができます。

静止 を押します。

※ もう一度ボタンを押すと現在の画面に戻ります。

※ 静止中も番組自体は進行しています。

※ データ放送と録画した番組は静止できません。

番組情報を表示する

画面表示 を押します。

➡ 下記の画面が表示されます。

※ デジタル放送とアナログ放送で表示される内容が異なります。

リモコンの番号ボタン
チャンネルの３桁番号
視聴中の放送波／放送局
1 121-1 地デジ NMK教育・大…
4/28(土) PM 8:38
現在の日時
5.1chサラウンド
音声情報
お知らせマーク
未読のお知らせがあるときに表示されます。
画質／画面サイズ
番組タイトル／放送時間
情熱紀行　ヨーロッパ編
PM 8：00 ～ PM 8：54
16：9 HD

しばらくすると簡易表示に切り換わります。

録画番組を再生しているときは以下のように表示されます。

情熱紀行　ヨーロッパ編
09/04(土) PM 8：00 ～ PM 8：54 16：9 HD
1:03:20 2:26:31
現在の再生時間
全体の再生時間
再生の状態
現在の再生位置

アナログ放送の場合

番組表を使う

番組表を見る

地上デジタル放送では、当日から 7 日先までの番組表を画面で確認することができます。

番組表 を押します。

➡ 下記の画面が表示されます。

※ お買い上げ後はじめて使用するときや、長期間電源ケーブルを抜いていたときは、番組情報が表示されない場合があります。
　この場合は、P.12 の手順で番組表の情報を取得してください。

別のチャンネルを見る

◀ ▶ を押します。

選択箇所（黄色の部分）が画面端にあるときにボタンを押すと、見えていない部分が表示されます。

別の時間帯を見る

▲ ▼ を押します。

選択箇所（黄色の部分）が画面端にあるときにボタンを押すと、見えていない部分が表示されます。

※ を押して、6 時間ごとに表示を切り換えることもできます。

翌日以降を見る

赤 を押します。

前日に戻る

青 を押します。

翌日以降の番組表が表示されているときは、前日に戻ります。当日の場合は、現在時刻に戻ります。

表示を拡大・縮小する

黄 を押します。

押すたびに表示の大きさが切り換わります。

番組の詳細を見る

番組を選んで 決定 を押します。

➡ 番組詳細の画面が表示されます。

裏番組表を見る

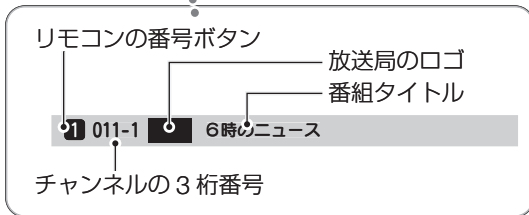
他のチャンネルで現在放送されている番組を一覧で見ることができます。

裏番組表 を押します。

➡ 下記の画面が表示されます。

※ お買い上げ後はじめて使用するときや、長期間電源ケーブルを抜いていたときは、番組情報が表示されない場合があります。この場合は、番組表の情報を取得してください。
（右記「番組表を取得する」）

裏番組表の画面

リモコンの番号ボタン
放送局のロゴ
番組タイトル
1 011-1 6時のニュース
チャンネルの３桁番号

別の番組に切り換える

番組を選んで 決定 を押します。

対応するリモコンの番号ボタン（ 1 ～ 12 ）を押すことでも切り換えられます。

番組表を取得する

番組情報が表示されないときは、手動で番組表を取得してください。

※ 番組表は本機が待機状態のとき、１日に１回自動的に更新されます。ただし、お買い上げ後はじめて使用するときや、本機の電源ケーブルがはずされていたときなどは、番組表の情報を取得できていない場合があります。

1 番組表を取得する放送波に切り換えます。

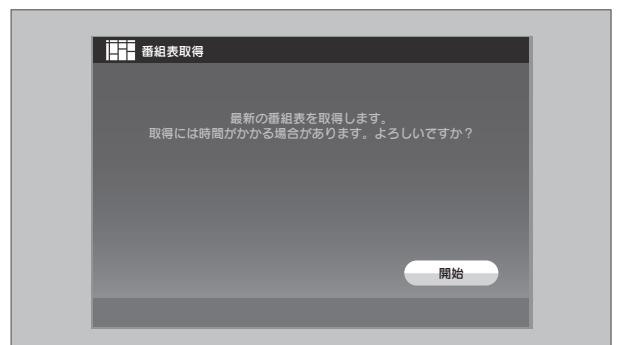
地上デジタル放送、BS デジタル放送、CS デジタル放送のいずれかを選んでください。

2 番組表 を押します。

➡ 番組表が表示されます。

3 ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ を押します。

➡ 番組表メニューが表示されます。

4 [番組表取得] を選んで、 決定 を押します。

5 決定 を押します。

➡ 番組表の取得が開始されます。取得には時間がかかる場合があります。

テレビを見る

番組をさがす

ジャンルを指定して、番組表から番組をさがすことができます。

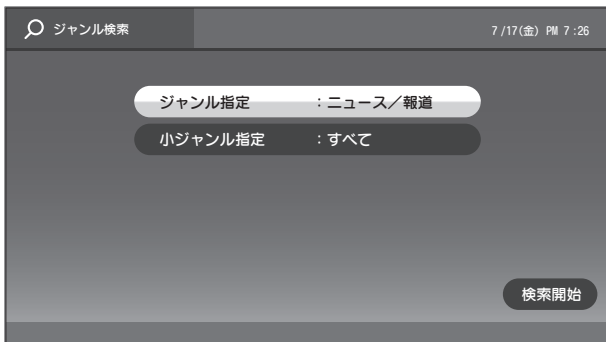
1 番組表 を押します。

➡ 番組表が表示されます。

2 ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ を押します。

➡ 番組表メニューが表示されます。

3 [ジャンル検索] を選んで 決定 を押します。

➡ ジャンル検索画面が表示されます。

4 [ジャンル指定] を選んで 決定 を押します。

5 ジャンルを選んで 決定 を押します。

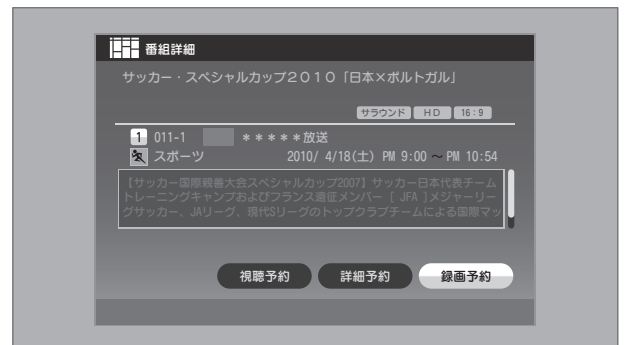
6 [小ジャンル指定] を選んで 決定 を押します。

7 小ジャンルを選んで 決定 を押します。

8 [検索開始] を選んで 決定 を押します。

➡ 条件に該当する番組の検索結果が表示されます。

9 番組を選んで 決定 を押します。

➡ 番組詳細画面が表示されます。

10 目的の操作を選んで 決定 を押します。

視聴	番組の画面を表示します。 ※現在放送中の番組の場合のみ表示されます。
視聴予約	視聴予約を登録します。 登録した番組の開始時間になると、自動的にその番組のチャンネルに切り換わります。 ※すでに視聴予約が登録されている場合は表示されません。
詳細予約	詳細予約画面を表示します。 毎日／毎週録画や番組追従の設定ができます。
録画予約	録画予約を登録します。 ※すでに録画予約が登録されている場合は表示されません。また、予約の登録後、他の予約と時間帯が重複している場合、[重複確認] ボタンが表示されます。ボタンを押すと、予約一覧の画面が表示されます。

番組表メニュー

番組表メニューでは以下の操作ができます。

- 番組表内で使用されている記号の説明表示
- ジャンルによる番組検索
- 録画予約一覧への移動
- 視聴予約一覧への移動
- 最新の番組表取得
- 番組表のチャンネル表示方法の切換

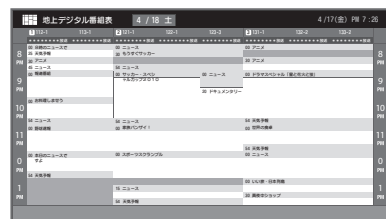
1 番組表 を押します。

➡ 番組表が表示されます。

2 ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ を押します。

➡ 番組表メニューが表示されます。

3 目的の操作を選んで、決定 を押します。

番組記号一覧	番組表内で使用されている記号の説明を表示します。
ジャンル検索	番組のジャンルを指定して、該当する番組の一覧を表示します。(P.13)
録画予約一覧	録画予約されている番組の一覧を表示します。(P.25)
視聴予約一覧	視聴予約されている番組の一覧を表示します。(P.18)
番組表取得	最新の番組表を取得します。(P.12)
代表チャンネル／ マルチチャンネル	デジタル放送では、1つの放送局に複数のチャンネルが割り当てられているため、放送局が同じでも同一時間帯に異なる番組が放送される場合があります。 【代表チャンネル】 複数のチャンネルのうち、各放送局の先頭の1チャンネルだけを番組表に表示します。1画面で表示できる放送局数が増えますが、2番目以降のチャンネルで異なる番組が放送されている場合、番組表には表示されません。 【マルチチャンネル】 すべてのチャンネルを番組表に表示します。

データ放送を見る

データ放送を表示する

データ放送では、天気予報などの生活に役立つ情報や、番組に連動した情報が提供されています。

dデータ を押します。

➡ データ放送が表示されます。画面の内容は番組によって異なります。

※ データ放送はチャンネルスキャンで受信できるチャンネルでのみ利用できます。

※ 双方向サービスを利用する場合は右記の「双方向サービスを利用する」を完了しておいてください。

データ放送の画面（例）

データ放送の操作

■ 選択項目を移動する

方向ボタンを押します。

■ 選択項目を実行する

決定 を押します。

※ 番組によっては、青 赤 緑 黄 を使用する場合があります。

■ 数字を入力する

1 ～ 10 を押します。

※「0」を入力するときは 10 を押してください。

■ 前の画面に戻る

戻る を押します。

※ 番組によっては、別のボタンが割り当てられている場合があります。

■ データ放送を終了する

dデータ を押します。

※ 番組によっては、別のボタンが割り当てられている場合があります。

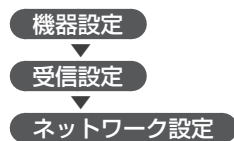
双方向サービスを利用する

番組内のクイズやアンケートなど、放送局に対してデータを送信して参加するデータ放送のサービスを利用するには以下の設定が必要です。

※ 双方向サービスの利用にはインターネット環境が必要です。
※ ルーターは DHCP 対応の機器を使うことをおすすめします。

1 本機とルーターを LAN ケーブル（市販品）で接続します。

2 メニュー を押します。

3 メニューを以下の通り進みます。

4 [IP アドレス取得方法] を選んで 決定 を押します。

5 [自動] を選んで 決定 を押します。

6 [接続テスト] を選んで 決定 を押します。

➡ インターネット接続が確認されると、テストが正常に終了します。

7 [完了] を選んで 決定 を押します。

テストに失敗した場合

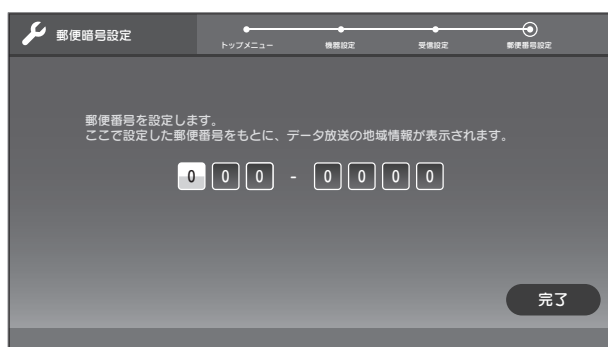
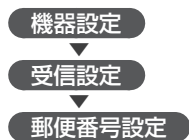
ルーターとの接続を確認してください。
それでも失敗する場合は、上記の手順 5 で [手動] を選んで、IP アドレスなどの情報を入力してください。

※ ルーターの取扱説明書もあわせて確認してください。
※ IP アドレスなどが不明な場合は、ご契約のプロバイダーにお問い合わせください。
※ 数字の入力は 1 ～ 10 を使います。

地域設定を変更する

データ放送で提供されている天気予報などの表示地域を変更することができます。

1 メニュー を押します。

2 メニューを以下の通り進みます。

3 1 ～ 10/0 で設定する地域の郵便番号を入力します。

- 「0」を入力するときは 10/0 を押してください。
- 誤って入力した場合は、方向ボタン ◀ ▶ で修正箇所に移動してから再入力してください。

4 [完了] を選んで 決定 を押します。

テレビを見るときに便利な機能

オンタイマー

あらかじめ設定した時刻に本機の電源を入れることができます。

※ オンタイマーはデジタル放送の時刻情報に基づいて動作します。お買い上げ直後などで、デジタル放送の時刻情報がないときは、オンタイマーを使用できない場合があります。デジタル放送の番組を30秒以上受信して、時刻情報を取得しておいてください。

1 メニュー を押します。

2 メニューを以下の通り進みます。

※ 上記の画面は サブメニュー からも表示できます。

3 [オンタイマー] を選んで 決定 を押します。

4 [入] を選んで 決定 を押します。

5 電源を入れる時刻やチャンネルを設定します。

※ [曜日] は、毎日または毎週に設定することもできます。

6 [完了] を選んで 決定 を押します。

➡ オンタイマーの設定が適用されます。本機の電源を切ると、電源ランプがオレンジ色に点灯します。

オフタイマー

時間を指定して、本機の電源を自動的に切ることができます。

※ 録画のオフタイマーについては P.22 を参照してください。

1 メニュー を押します。

2 メニューを以下の通り進みます。

3 [オフタイマー] を選んで 決定 を押します。

※ 上記の画面は サブメニュー からも表示できます。

4 電源を切る時間を選んで 決定 を押します。

➡ オフタイマーの設定が適用されます。
設定時間の 1 分前になると、オフタイマーの作動を伝えるメッセージが表示されます。

視聴予約

指定した番組の開始時刻になると、その番組のチャンネルに切り換えます。

※ 開始時刻の時点で電源が切れているときは無効です。

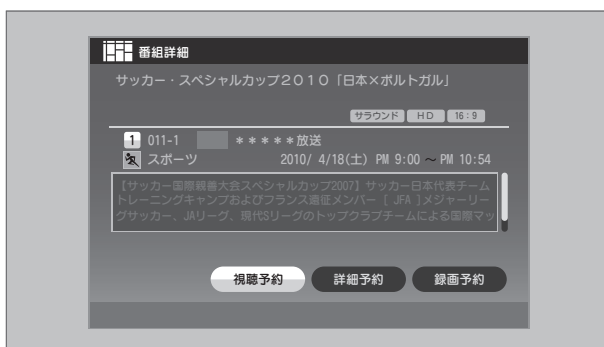
1 番組表 を押します。

➡ 番組表が表示されます。

※ 番組表に情報が表示されていない場合は、先に番組表を更新してください。(P.12)

※ 番組表のくわしい操作方法については P. 10 を参照してください。

2 予約する番組を選んで 決定 を押します。

➡ 番組の詳細が表示されます。

3 [視聴予約] を選んで 決定 を押します。

➡ 予約が登録されます。
登録した視聴予約は番組表メニュー(P.14)の [視聴予約一覧] で確認できます。

- 視聴予約された番組は番組表の画面で マーク(青)が表示されます。
- 視聴予約を削除する場合は、番組表メニューの [視聴予約一覧] から削除するか、番組表で視聴予約した番組を選んで、番組詳細の画面で 青 を押してください。

クイック起動

電源を入れてから番組の画面が表示されるまでの時間を短縮します。

※ 待機中の消費電力が上がります。

※ 緊急放送受信 (P.19) の [自動電源オン] を [入] にしている場合は、[切] にしてから設定してください。

1 メニュー を押します。

2 [便利な機能] を選んで 決定 を押します。

3 [クイック起動] を選んで 決定 を押します。

4 [入] を選んで 決定 を押します。

省エネ設定

視聴中の消費電力を抑えたり、一定の条件で自動的に電源を切るように設定することができます。

1 メニュー を押します。

2 メニューを以下の通り進みます。

3 設定項目を選んで 決定 を押します。

省電力	バックライトの明るさを抑えて、消費電力を節約します。画面が少し暗くなります。
無操作電源オフ	本機の操作が 3 時間以上なかった場合、自動的に電源を切ります。
無信号電源オフ	外部機器からの入力信号がないときや、表示中のチャンネルの放送終了から 10 分後に自動的に電源を切ります。

4 ［入］を選んで 決定 を押します。

緊急放送の設定

地震や津波などの大規模災害が発生した場合に送信される「緊急警報放送」を受信すると、自動的にチャンネルを切り換えたり、電源が入るように設定することができます。

※ 自動的に電源が入るようにする場合は、あらかじめ「クイック起動」（P.18）を［ 入 ］にしてから設定してください。

1 メニュー を押します。

2 メニューを以下の通り進みます。

3 設定項目を選んで 決定 を押します。

自動切換	番組の視聴中に緊急警報放送を受信すると、自動的にチャンネルが切り換わります。
自動電源オン	本機が待機状態のときに緊急警報放送を受信すると、自動的に電源が入り、緊急警報放送のチャンネルが表示されます。 「クイック起動」（P.18）を［ 入 ］にしておく必要があります。

4 ［入］を選んで 決定 を押します。

視聴年齢の制限

設定した年齢制限に該当する番組を受信したときに、暗証番号の入力画面を表示します。暗証番号が入力されるまで、番組の映像が表示されません。

※ アナログ放送ではご利用できません。

※ この設定は、番組そのものに年齢制限がかけられている場合のみ適用されます。番組情報で R 指定の記載があっても、年齢制限がかけられていないときは番組の映像が表示されます。

※ 視聴年齢が制限されている番組でも録画はできます。ただし、再生時に暗証番号の入力が必要になります。

1 メニュー を押します。

2 メニューを以下の通り進みます。

3 1 ～ 10/0 で暗証番号を入力します。

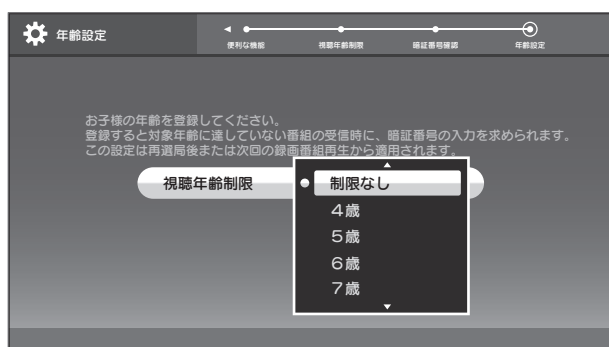
※「0」を入力するときは 10/0 を押してください。

※ 誤って入力した場合は、もう一度 [暗証番号] を選んで再入力してください。

4 [（再入力）暗証番号] にもう一度、暗証番号を入力します。

5 [登録] を選んで 決定 を押します。

➡ 年齢設定の画面が表示されます。

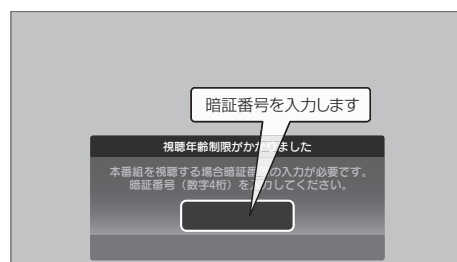
6 [視聴年齢制限] を選んで 決定 を押します。

7 年齢を選んで 決定 を押します。

視聴を制限したい方の年齢を選んでください。

年齢を設定してから

■ 対象の番組を受信したとき

下図のメッセージが表示されます。

1 ～ 10/0 で暗証番号を入力して 決定 を押します。

■ 制限年齢を変更するとき

① メニュー を押して、以下の通り進みます。

② 暗証番号を入力します。

③ [視聴年齢制限] の年齢を変更して 決定 を押します。

※ 年齢制限を解除する場合は [制限なし] を選んでください。

■ 暗証番号を変更するとき

① メニュー を押して、以下の通り進みます。

② 現在の暗証番号を入力します。

③ 新しい暗証番号を入力します。

④ もう一度、同じ暗証番号を入力します。

⑤ [登録] を選んで 決定 を押します。

■ 暗証番号を忘れたとき

本機を初期化してください。（P.43）

※ チャンネルの設定、番組表、録画予約など、録画済みの番組を除くすべての設定が消去されます。

録画予約の制限事項

本機での録画には以下の制限があります。ご利用の前に確認してください。

録画できない番組や映像

- 番組の放送中に提供されているデータ放送およびデータ放送専用チャンネルの番組
- アナログ放送の番組
- デジタル放送のコピー制限がかけられている番組
- 有料放送などで未契約の番組
- 外部入力の映像

録画の制限

- 複数の番組を同時に録画することはできません。予約が重複する場合は右記のルールにしたがって録画されます。
- ハードディスクに保存されている番組が 500 番組を超える場合は録画できません。
- 録画予約は最大 100 件まで登録できます。
- テレビやハードディスクなどの故障などにより、録画できなかった場合の保証はいたしかねます。

予約録画が失敗したとき

メニュー を押して、[お知らせ] の [録画に関するお知らせ] で失敗した理由を確認することができます。

録画時間の目安

■ 地上デジタル放送の場合

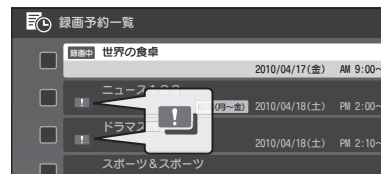
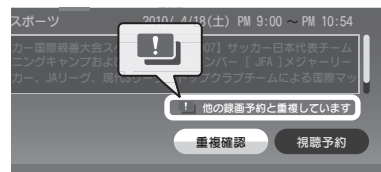
放送種別		高画質（17Mbps）	標準画質（8Mbps）
1 時間あたりの必要容量		7.5GB	3.5GB
ハードディスクの容量	320GB（付属ハードディスク）	約 41 時間	約 89 時間
	500GB	約 65 時間	約 140 時間
	640GB	約 83 時間	約 179 時間
	1.0TB	約 130 時間	約 280 時間
	1.5TB	約 195 時間	約 420 時間
	2.0TB	約 260 時間	約 560 時間

■ BS/CS デジタル放送の場合

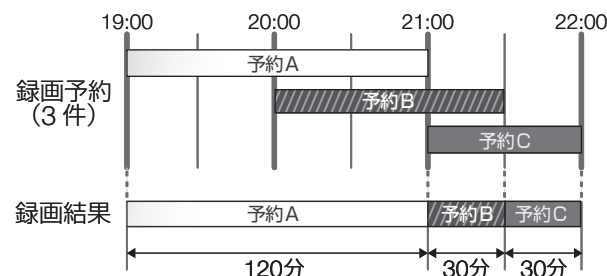
放送種別		高画質（24Mbps）	標準画質（11Mbps）
1 時間あたりの必要容量		10.5GB	4.8GB
ハードディスクの容量	320GB（付属ハードディスク）	約 28 時間	約 64 時間
	500GB	約 45 時間	約 100 時間
	640GB	約 57 時間	約 128 時間
	1.0TB	約 90 時間	約 200 時間
	1.5TB	約 135 時間	約 300 時間
	2.0TB	約 180 時間	約 400 時間

予約の重複について

本機では、すでに登録済みの予約と時間帯が重複する場合でも、新たに予約を登録することができます。予約が重複している場合、予約一覧・番組詳細・番組表で重複を知らせるアイコン（ ）やボタンが表示されます。

■ 予約一覧画面

■ 番組詳細画面

番組詳細画面では、メッセージと [重複確認] ボタンが表示されます。ボタンを押すと、録画予約一覧画面が表示されます。

■ 予約が重複したまま録画されたとき

予約を重複したままにしておくと、開始時刻が先の番組が優先的に録画されます。録画終了後、別の予約の番組がまだ放送されている場合は、その時点から録画を開始します。

番組の開始時刻が同じときは、放送波で優先順位が決定されます。

1 番 地上デジタル放送
2 番 BS デジタル放送
3 番 CS デジタル放送

見ている番組を録画する

今見ている番組を録画します。

※ 録画するときは、かならずハードディスクを接続しておいてください。

※ 予約録画の実行中は別の番組を録画できません。

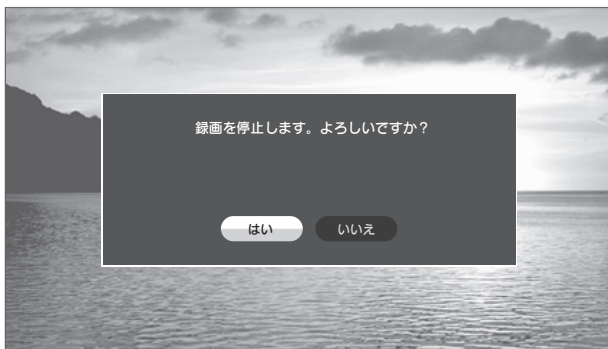
1 録画したい番組のチャンネルに合わせます。

※ 地上デジタル放送、BS デジタル放送、CS デジタル放送の番組を録画できます。アナログ放送と外部入力からの映像は録画できません。

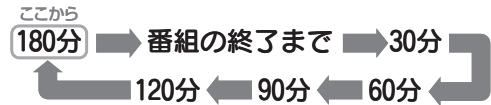
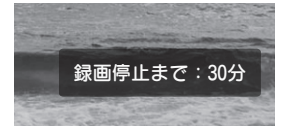
2 録画 ● を押します。

➡ 録画が開始されます。

※ 最大 12 時間まで録画できます。ただし、ハードディスク容量が足りなくなった場合は、その時点で録画が終了します。

録画を終了するときは、停止 ■ を押して、表示されるメッセージで [はい] を選んで 決定 を押します。

録画のオフタイマー

録画の終了時間を設定することができます。

録画中に 録画 ● を押すたびに、画面右下に設定時間が表示されます。

※「番組の終了まで」は番組が認識されてから表示されるため、表示されるまでに数秒かかる場合があります。

録画・再生する

予約録画する

番組表で番組を指定して録画する

番組表(P.10)で、録画したい番組を選んで予約します。

※ 録画するときは、かならずハードディスクを接続しておいてください。

※ 録画に関する制限事項については、P.21 を参照してください。

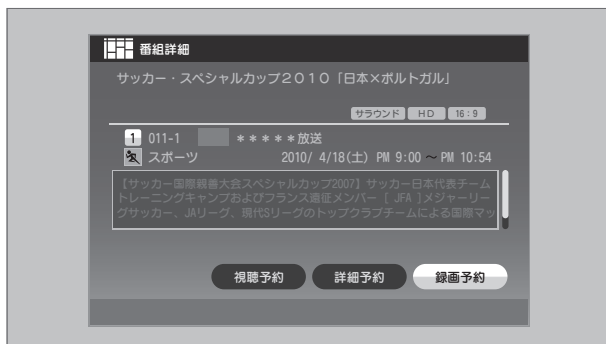
1 番組表 を押します。

➡ 番組表が表示されます。

※ 番組表に情報が表示されていない場合は、先に番組表を更新してください。(P.12)

※ 番組表のくわしい操作方法については P. 10 を参照してください。

2 録画する番組を選んで 決定 を押します。

➡ 番組詳細の画面が表示されます。

3 [録画予約] を選んで 決定 を押します。

➡ 予約が登録されます。

- 戻る を押すと、番組表に戻ります。
- 予約一覧 を押すと、登録した予約の確認や変更ができます。(P.25)

※ 録画予約された番組は番組表の画面で 🕒 マーク(赤)が表示されます。

※ 録画予約があるときは、本機の電源ケーブルをコンセントから抜かないでください。

別の予約と重複している場合

同じ時間帯に別の予約録画がある場合でも予約が登録されます。重複した場合、番組の一部または全部が録画されません。P.21 を参考に重複する予約を調整してください。

予約の詳細を編集する

番組詳細の画面で [詳細予約] を選ぶと、以下の項目を設定して予約できます。

繰り返し	同じ番組を毎日または毎週録画します。
番組追従	番組の開始時刻が変更された場合に、自動で番組の開始・終了の時間に合わせて録画します。 ※開始時刻が 4 時間以上遅れた場合は追従できません。

日時を指定して録画する（毎日／毎週録画）

チャンネルと時刻を指定して録画します。同じ時刻で毎日または毎週録画することもできます。

※ 録画するときは、かならずハードディスクを接続しておいてください。
※ 録画に関する制限事項については、P.21 を参照してください。

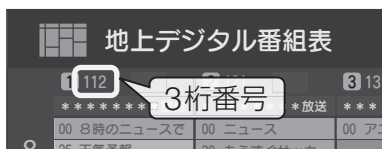
1 予約一覧 を押します。

➡ 録画予約一覧の画面が表示されます。

2 黄 を押します。

➡ 予約設定の画面が表示されます。

3 録画日時とチャンネルを指定します。

- 1 ヶ月先の日付まで予約できます。
- 最大 12 時間まで録画できます。
- 3 桁チャンネル番号は番組表で確認できます。

4 繰り返しの設定を指定します。

毎日または毎週録画する必要がない場合は、[1 回のみ] を選んでください。

5 [完了] を選んで 決定 を押します。

➡ 録画予約一覧の画面が表示され、登録した予約が反映されます。

※ 録画予約が終了するまで本機の電源ケーブルをコンセントから抜かないでください。

別の予約と重複している場合

同じ時間帯に別の予約録画がある場合でも予約が登録されます。重複した場合、番組の一部または全部が録画されません。P.21 を参考に重複する予約を調整してください。

録画・再生する

予約状況を確認する（予約一覧画面）

予約一覧 を押します。

➡ 下記の画面が表示されます。確認したい予約を選んで 決定 を押すと予約の詳細画面を表示することができます。

※ 録画が完了した番組は録画予約一覧の画面からなくなり、録画一覧の画面に表示されます。録画一覧の画面で番組が表示されない場合は、メニュー を押して、[お知らせ] の [録画に関するお知らせ] を確認してください。

予約を変更する

予約録画の開始前であれば、登録した予約内容を変更することができます。

変更する予約を選んで 緑 を押します。

➡ 予約録画の編集画面が表示されます。必要に応じて変更してください。

予約を削除する

登録した予約を取り消します。

①削除する予約を選んで 赤 を押します。

➡ 確認メッセージが表示されます。

②[はい] を選んで 決定 を押します。

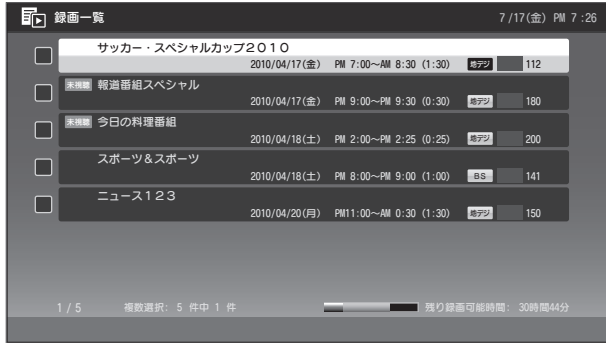
録画番組を再生する

録画した番組を再生します。録画中の番組でも、開始から現在放送中の時点までは再生することができます。

※ この操作は、かならずハードディスクを接続してから行ってください。

番組を選んで再生する

1 録画一覧 を押します。

➡ 録画一覧の画面が表示されます。

2 再生する番組を選んで 決定 を押します。

➡ 再生が開始されます。再生中の操作については下表を参照してください。

※ すでに途中まで再生した番組は、前回のつづきから再生されます。先頭から再生する場合は、再生 ▶ を押してください。

直前に再生した番組を再生する

視聴中に 再生 ▶ を押すと、直前に再生した録画番組の再生が開始されます。

再生中の操作

再生中はリモコンで以下の操作ができます。

ボタン	操作
再生 ▶	一時停止中に押すと再生を再開します。
一時停止 ❚❚	再生を一時停止します。
早戻し ◀◀	再生を戻します。押すたびに、戻す速さが 2 倍→ 4 倍→ 10 倍→ 50 倍→ 100 倍→ 200 倍の順で切り換わります。
早送り ▶▶	再生を進めます。押すたびに、進む速さが 2 倍→ 4 倍→ 10 倍→ 50 倍→ 100 倍→ 200 倍の順で切り換わります。
停止 ■	再生を停止します。
画面表示	番組情報と現在の再生位置を表示します。
字幕	字幕の表示を切り換えます。（対応番組のみ）
音声切換	番組内の音声を切り換えます。（対応番組のみ）
青	再生中に押すと、現在再生中の場面から 10 秒戻ります。
黄	再生中に押すと、現在再生中の場面から 30 秒進みます。

毎週録画した番組を順番に再生する（連続再生）

1 録画一覧 を押します。

➡ 録画一覧の画面が表示されます。

2 サブメニュー を押してから、[表示順序] を選んで 決定 を押します。

3 ［番組名順］を選んで 決定 を押します。

➡ 番組が並べ替えられます。

4 はじめに再生したい番組に選択箇所（黄色の部分）をあわせます。

✕ ここで 決定 を押さないでください。

5 サブメニュー を押してから、［連続再生］を選んで 決定 を押します。

➡ 再生が開始されます。見たい番組が終わったら、停止 ■ を押してください。

録画・再生する

録画した番組の一覧を見る（録画一覧画面）

録画一覧 を押します。

➡ 録画一覧の画面が表示されます。確認したい予約を選んで 決定 を押すと番組の再生を開始することができます。

※ 録画に失敗した番組は録画一覧の画面には表示されません。メニュー を押して、[お知らせ] の [録画に関するお知らせ] を確認してください。

録画・再生する

録画番組の管理

録画した番組を削除する

録画した番組を削除します。付属のハードディスクに保存できる番組は最大 500 件です。不要になった番組は削除しておくことをおすすめします。

※ この操作は、かならずハードディスクを接続してから行ってください。

※ 保護されている録画番組が含まれている場合は削除できません。保護を解除してから削除してください。

1 [録画一覧] を押します。

➡ 録画一覧の画面が表示されます。

2 削除する番組を選んで [赤] を押します。

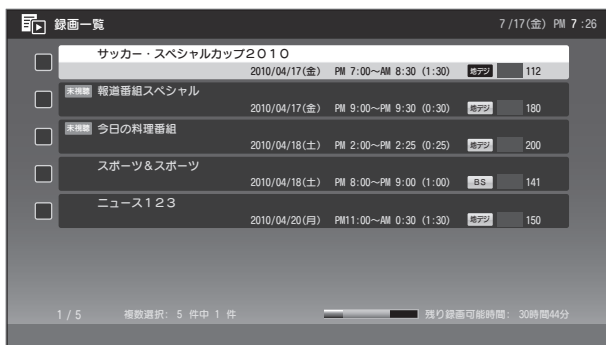
➡ メッセージが表示されます。

3 [はい] を選んで [決定] を押します。

録画した番組を保護する

録画した番組を誤って削除しないように保護することができます。

※ この操作は、かならずハードディスクを接続してから行ってください。

1 [録画一覧] を押します。

➡ 録画一覧の画面が表示されます。

2 保護する番組を選んで [緑] を押します。

➡ 保護された番組は録画一覧画面で 🔒 マークが表示されます。

※ 保護を解除するときは、保護された番組を選んで [緑] を押します。

録画番組を日時や番組名順に並べ替える

1 [録画一覧] を押します。

➡ 録画一覧の画面が表示されます。

2 [ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ] を押してから、[表示順序] を選んで [決定] を押します。

3 並べ替える順番を選んで [決定] を押します。

日時順	番組の放送日時が古い順に並べ替えます。
番組名順	番組名の順に並べ替えます。

➡ 番組が並べ替えられます。

録画した番組を分割する

録画番組を２つに分割することができます。分割された録画番組は元に戻せませんので注意してください。

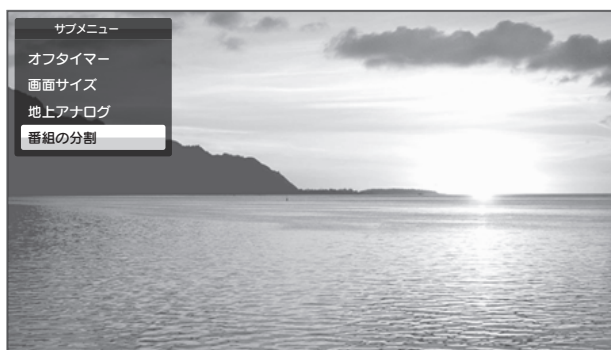
※ この操作は、かならずハードディスクを接続してから行ってください。

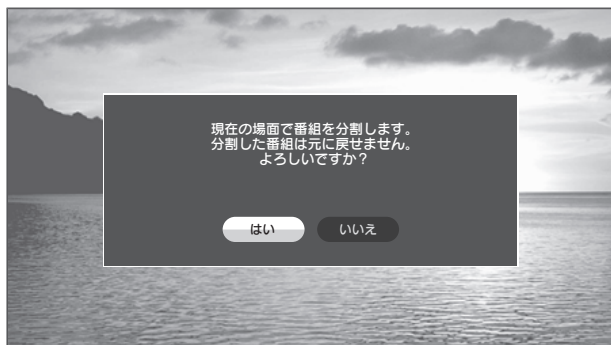
※ 保護されている録画番組は分割できません。保護を解除してから分割してください。

1 録画番組一覧から録画番組を再生します。

2 分割する場面で 一時停止 を押します。

3 サブメニュー を押します。

➡ サブメニューが表示されます。

4 [番組の分割] を選んで 決定 を押します。

➡ メッセージが表示されます。

5 [はい] を選んで 決定 を押します。

➡ 録画番組が分割されます。 録画一覧 を押して録画番組が分割されていることを確認してください。

録画した番組をすべて消去する（初期化）

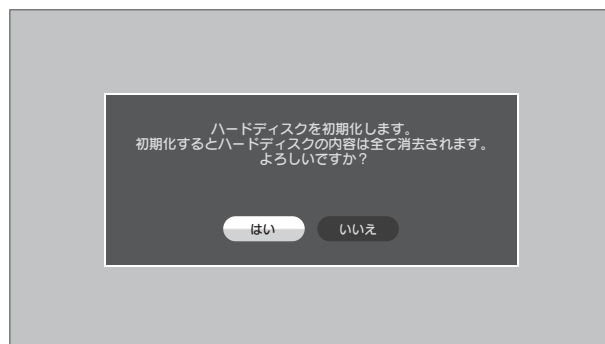
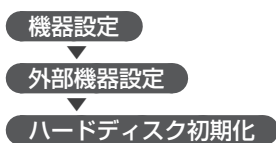
ハードディスクに保存されている録画番組をすべて消去します。消去された録画番組は元に戻せませんので注意してください。

※ この操作は、かならずハードディスクを接続してから行ってください。

※ 初期化されていないハードディスクを接続した場合、接続するとすぐに初期化の確認メッセージが表示されます。

※ 保護されている録画番組も消去されます。

1 メニュー を押します。

2 メニューを以下の通り進みます。

3 [はい] を選んで 決定 を押します。

設定項目一覧

本機の設定はトップメニュー画面から各設定項目に進みます。

メニュー を押します。

➡ トップメニュー画面が表示されます。

メニュー項目				概要	参照先
お知らせ	録画に関するお知らせ			予約録画に失敗した理由を確認します。	P.42
	放送局からのお知らせ			チャンネルの変更など放送局からのお知らせを確認します。	
	本機からのお知らせ			本機のソフトウェア更新情報などを確認します。	
	ボード			CS デジタル放送のボード情報（掲示板）を確認します。	
映像設定	画質設定			画質を設定します。	P.32
	オートワイド設定			元の映像のサイズにかかわらず、映像を画面いっぱいに表示します。	P.33
	シネマ設定			映画などを観るときに映像のちらつきを抑えます。	P.34
音声設定	音質設定			音質を設定します。	P.35
	デジタル音声出力			光デジタル音声出力に対応したスピーカーなどに接続するときの音声形式を指定します。	P.36
	サラウンド設定			音声の出力方法を変更して、臨場感のある音声にします。	P.36
機器設定	受信設定	チャンネル・リモコン設定	チャンネル設定	チャンネルスキャンを行います。	P.38
			リモコンボタン割り当て	リモコンの番号ボタンにお好みのチャンネルを割り当てます。	P.41
			チャンネル自動更新	放送局の新設や周波数の変更に対して自動的に周波数を合わせます。 工場出荷時から [入] で設定されています。	–
		アンテナ設定	受信レベル	チャンネルごとの受信状態を確認します。	P.38
			電源供給	BS デジタル放送・CS デジタル放送用アンテナへの電源供給の方法を設定します。	P.40
			アッテネーター 地上デジタル放送・アナログ放送のみ	[入] にすると本機の受信感度を落とします。電波が強すぎて受信が不安定になる場合に使用します。	–
		ネットワーク設定		インターネット接続の設定をします。データ放送の双方向サービスを利用するときに設定します。	P.15
		郵便番号設定		データ放送で表示する地域情報を郵便番号で指定します。	P.16

メニュー項目			概要	参照先
機器設定	外部機器設定	機器名称登録	入力切換 を押したときの各入力の名称を変更します。	P.49
		HDMI1音声入力	HDMI1 入力に接続した機器の音声入力方法を指定します。	P.37
		PC 入力	パソコンモニターとして使用するときの画面の表示位置を調整します。	P.47
		ハードディスク初期化	ハードディスクを初期化します。	P.29
	機器情報		本機のソフトウェア情報などを確認します。	P.42
	はじめて設定		初回設定をやり直します。	P.43
	設定初期化		本機を工場出荷時の状態に戻します。	P.43
便利な機能	タイマー設定	オンタイマー	曜日・時刻を指定して電源を入れます。	P.17
		オフタイマー	時間を指定して電源を切ります。	P.17
	省エネ設定	省電力	画面の明るさを下げて電力消費を抑えます。	P.19
		無操作電源オフ	3 時間以上操作がないときに自動的に電源を切ります。	
		無信号電源オフ	放送波や外部入力信号が 10 分以上ないときに自動的に電源を切ります。	
	視聴年齢制限	年齢設定	視聴制限の年齢を設定します。	P.20
		暗証番号設定	視聴制限の管理用パスワードを登録します。	
	デジタル放送設定	字幕	字幕の表示言語を設定します。	P.8
		文字スーパー	文字スーパーの表示言語を設定します。	–
		緊急放送受信	緊急警報放送を受信したときに自動的に電源が入るように設定します。	P.19
	クイック起動		電源を入れてから映像が表示されるまでの時間を短縮します。	P.18

映像の設定

画質の設定

画質の設定は、用途に応じて用意されている [映像モード] からお好みのモードを選ぶか、明るさや色合いなどを個別に設定することで調節します。

1 画質を変更したい放送波または入力に切り換えます。

2 メニュー を押します。

3 メニューを以下の通り進みます。

4 [設定対象] を選んで 決定 を押します。

5 変更する対象を選んで 決定 を押します。

※ [共通] にして画質を変更すると、他で [共通] を選んだ放送波や入力の画質も同時に変更されます。

6 [映像モード] を選んで 決定 を押します。

➡ 設定画面が表示されます。

7 ▲ ▼ で選んで 決定 を押します。

ダイナミック	色の濃さやコントラストが強調されます。
スタンダード	標準的な画質です。通常のテレビ視聴や DVD 再生に適しています。
シネマ	若干暗めの画質です。映画を観るときや、長時間の視聴に適しています。
リビング	標準的な画質よりも若干鮮明な画質です。
ユーザー	設定項目を個別に調節する場合はこちらを選んでください。

8 設定項目を選んで 決定 を押します。

手順 7 で [ユーザー] 以外の映像モードを選んでから各設定項目を変更した場合、映像モードが [ユーザー] として登録されます。

※ ここからはお好みで調整してください。かならず調整する必要はありません。

設定をリセットする	下記の設定項目で変更した内容を破棄して、変更前の状態に戻します。
バックライト	画面の明るさを調節します。 省電力の設定（P.19）が有効になっているときは変更できません。
明るさ	映像の明るさを調節します。
コントラスト	映像の陰影を調節します。
シャープネス	映像の輪郭の鮮明さを調節します。
色の濃さ	映像の色の濃さを調節します。
色あい	映像の色合いを調節します。肌色をきれいに表示したい場合はこの項目を調節します。
色温度	映像の色調を調節します。
ノイズリダクション	映像のノイズを軽減します。

9 ◀ ▶ または ▲ ▼ で設定内容を変更して 決定 を押します。

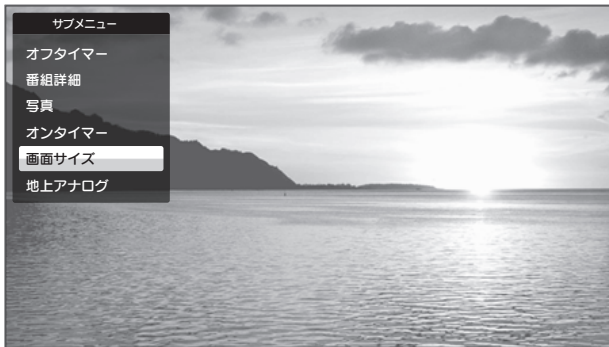
※ 設定項目によって操作方法が異なります。

※ すべての設定が完了したら、 を押してください。

画面サイズの切換

ご覧になる番組によっては、放送局から発信される映像そのもののサイズが異なることにより、画面上の表示がこれまでと違うように感じる場合があります。

この場合、お好みに応じて画面に表示するサイズを切り換えることができます。

1 サブメニュー を押します。

2 [画面サイズ] を選んで 決定 を押します。

➡ 設定画面が表示されます。

3 ▲ ▼ で選んで 決定 を押します。

スタンダード／ノーマル	受信した映像をそのままのサイズで表示します。 4:3 の映像には左右に帯が付きます。
ズーム	16:9 の映像を横方向に引き伸ばして表示します。
HD 拡大／SD 拡大	縦横比を維持したまま映像を拡大して表示します。 映像の周囲が画面に表示されません。
スーパーフル／フル	画面に合わせて映像を表示します。 4:3 の映像は左右に引き伸ばされます。
Dot by Dot	本機をパソコンモニターとして使用する場合、入力信号をそのまま表示します。

※ 番組によっては、上記の通りに表示されない場合があります。

※「16:9」「4:3」とは、画面の横と縦の長さの比率を表します。

※ 放送波、映像の解像度、オートワイド設定によって選択できる画面サイズが異なります。

オートワイド設定

映像を自動的に適切な画面比率で表示します。

1 オートワイドを適用したい放送波または入力に切り換えます。

2 メニュー を押します。

3 メニューを以下の通り進みます。

4 [設定対象] を選んで 決定 を押します。

5 適用する対象を選んで 決定 を押します。

※ [共通] にすると、他で [共通] を選んだ放送波や入力のオートワイド設定も同時に変更されます。

6 [オートワイド] を選んで 決定 を押します。

7 [入] を選んで 決定 を押します。

シネマ設定

画面のちらつきを抑えることができます。主に映画を観るときに使用します。

※ テレビの映像が1秒間に30コマで構成されているのに対して、映画では 24 コマで構成されている場合があるため、ちらつきが起こることがあります。

1 メニュー を押します。

2 [映像設定] を選んで 決定 を押します。

3 [シネマ設定] を選んで 決定 を押します。

4 [入] を選んで 決定 を押します。

音声の設定

音質の設定

音質の設定は、用途に応じて用意されている [音声モード] でお好みのモードを選ぶか、高音や低音などを個別に設定することで調節します。

1 音質を変更したい放送波または入力に切り換えます。

2 メニュー を押します。

3 メニューを以下の通り進みます。

4 [設定対象] を選んで 決定 を押します。

5 変更する対象を選んで 決定 を押します。

※ [共通] にして音質を変更すると、他で [共通] を選んだ放送波や入力の音質も同時に変更されます。

6 [音声モード] を選んで 決定 を押します。

➡ 設定画面が表示されます。

7 ▲ ▼ で選んで 決定 を押します。

スタンダード	元の音声を忠実に再現します。
ミュージック	高音と低音が強調されます。音楽を聴くときに適しています。
シアター	音の広がりが増します。映画を観るときに適しています。
ユーザー	設定項目を個別に調節する場合はこちらを選んでください。

8 設定項目を選んで 決定 を押します。

手順 7 で [ユーザー] 以外の音声モードを選んでから各設定項目を変更した場合、音声モードが [ユーザー] として登録されます。

※ ここからはお好みで調整してください。かならず調整する必要はありません。

設定をリセットする	下記の設定項目で変更した内容を破棄して、変更前の状態に戻します。
高音	音の高さを調節します。
低音	音の低さを調節します。
バランス	左右のスピーカーの音量バランスを調節します。

9 ◀ ▶ または ▲ ▼ で設定内容を変更して 決定 を押します。

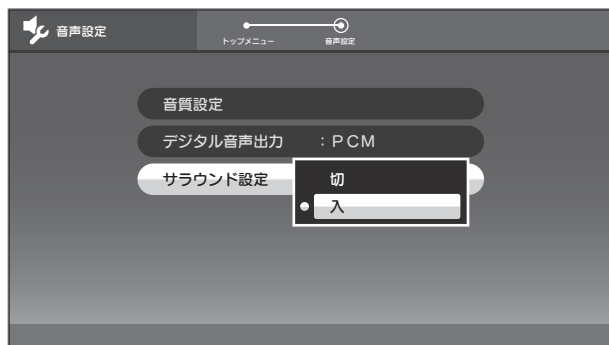
※ すべての設定が完了したら、メニュー を押してください。

サラウンド設定

音声の出力方法を変更して、臨場感のある音声で楽しむことができます。

1 メニュー を押します。

2 [音声設定] を選んで 決定 を押します。

3 [サラウンド設定] を選んで 決定 を押します。

4 [入] を選んで 決定 を押します。

※ 番組によっては音声が変化しない場合があります。

※ アナログ放送の音声多重番組で主音声と副音声を同時に出力している場合、サラウンド設定は無効になります。

音声出力形式の切換

デジタル音声出力に対応したスピーカーなどを接続する場合の音声形式を選択することができます。

※ 接続する機器が対応しているデジタル音声の形式については、その機器の取扱説明書を参照してください。

1 メニュー を押します。

2 [音声設定] を選んで 決定 を押します。

3 [デジタル音声出力] を選んで 決定 を押します。

4 出力形式を選んで 決定 を押します。

PCM	PCM 形式で音声を出力します。
AAC	AAC 形式で音声を出力します。

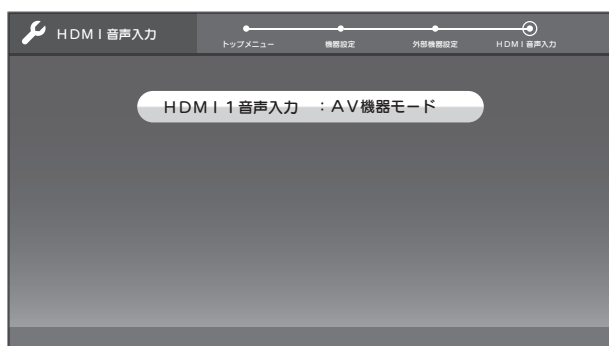
テレビの設定

HDMI1 音声入力の切換

本機の HDMI 端子（入力 1）に接続した機器の音声入力方法を切り換えることができます。

※ HDMI 端子は映像と音声の両方を伝送することができます。ここでは、音声を HDMI 端子から取り込むかどうかの設定を行います。

1 メニュー を押します。

2 メニューを以下の通り進みます。

3 [HDMI 1音声入力] を選んで 決定 を押します。

4 入力モードを選んで 決定 を押します。

AV 機器モード	音声を HDMI 入力端子（入力 1）から取り込みます。 HDMI 端子を搭載した AV 機器からの音声をデジタル品質で再現する場合は、こちらを選んでください。
PC モード	HDMI 入力端子（入力 1）から音声を取り込みません。 パソコンの接続にステレオ音声ケーブルを使用する場合は、本機背面の「パソコン入力」の音声端子を使用してください。 パソコンとの接続方法は P.46 を参照してください。

受信の設定

受信レベルの確認

チャンネルごとの受信状態（受信レベル）を確認できます。

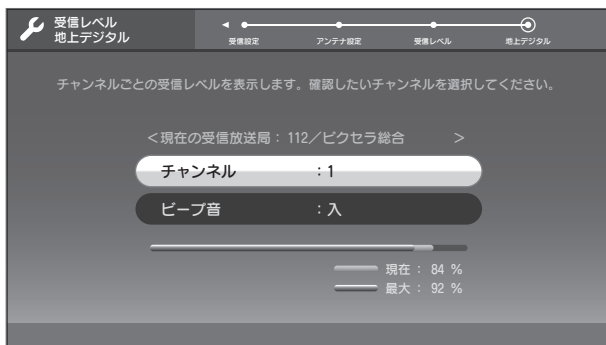
※ アナログ放送の受信レベルは確認できません。

1 受信レベルを確認したいチャンネルに合わせます。

2 メニュー を押します。

3 メニューを以下の通り進みます。

4 放送波を確認して 決定 を押します。

➡ 受信レベルの画面が表示され、電子音（ビープ音）が鳴りはじめます。

5 受信レベルを確認します。

- 50%以上が正常に視聴できる目安です。
- [チャンネル] を選んで 決定 を押すと、受信レベルを確認するチャンネルを変更できます。

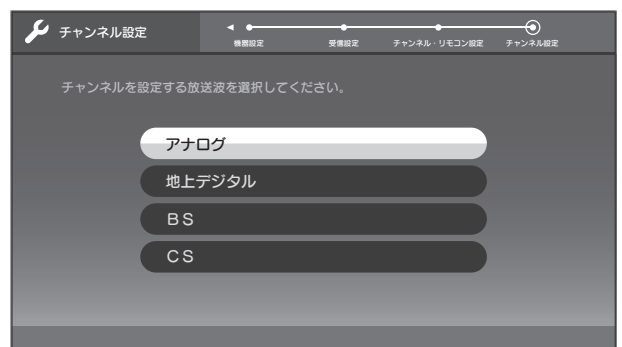
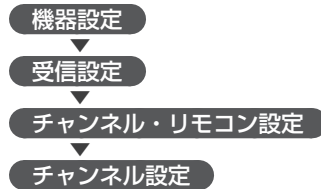
ビープ音とは？

現在の受信状態を音で知らせる機能です。アンテナの設置時に、離れた場所から受信状態を確認するときに使用します。
［ビープ音］を［入］にすると、電子音が鳴りはじめます。受信レベル 50%を境に高い音に切り換わるので、音の変化を目安にアンテナを調整してください。

チャンネルの再設定（チャンネルスキャン）

引越しなどで受信する地域が変わったときは、チャンネルスキャンを行う必要があります。

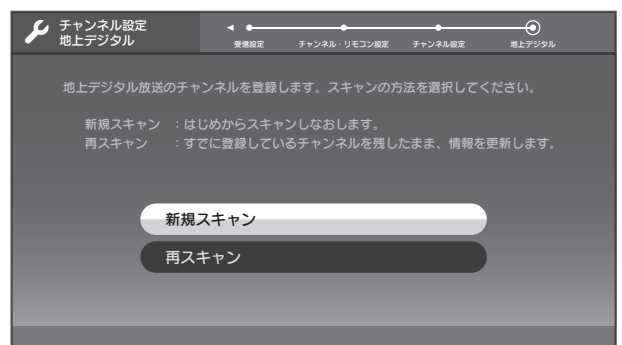
1 メニュー を押します。

2 メニューを以下の通り進みます。

3 チャンネルスキャンを行う放送波を選んで 決定 を押します。

※ 選択した放送波によって設定方法が異なります。

4 手順 3 で選択した放送波の設定を行います。

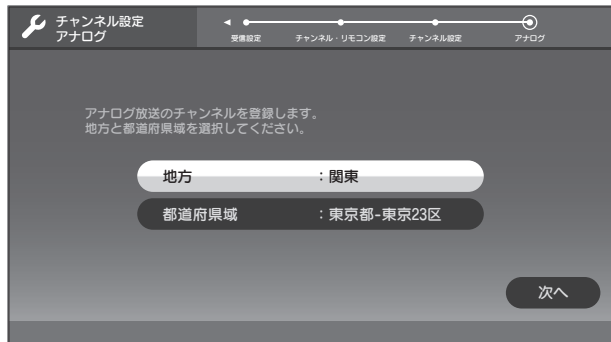
■ 地上デジタル放送の場合

チャンネルの設定方法を選んで 決定 を押します。

新規スキャン	すでに登録しているチャンネルを破棄して、はじめからチャンネルスキャンを行います。 ※番組表情報も破棄されます。
再スキャン	すでに登録しているチャンネルに情報を追加・更新します。

※ チャンネルスキャンに時間がかかる場合があります。

■ BS デジタル放送・CS デジタル放送の場合

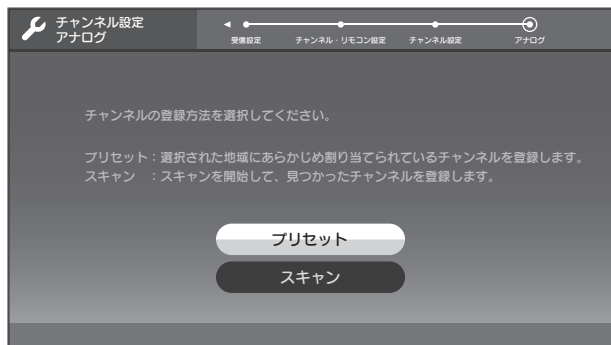
手順３で選択した直後からチャンネルスキャンが実行されます。チャンネルスキャンが完了したら、手順５に進んでください。

■ アナログ放送の場合

①[地方] を選んで 決定 を押します。

②お住まいの地方を選んで 決定 を押します。

③[都道府県域] を選んで 決定 を押します。

④お住まいの地域を選んで 決定 を押します。

⑤[次へ] を選んで 決定 を押します。

⑥チャンネルの設定方法を選んで 決定 を押します。

プリセット	設定した地域にあらかじめ割り当てられているチャンネルを登録します。地域ごとのチャンネル割り当ては弊社ホームページで確認できます。（http://www.pixela.co.jp/）
スキャン	チャンネルスキャンを開始して、実際に受信できるチャンネルを登録します。※時間がかかる場合があります。

※ 地上および BS のアナログテレビ放送は、2011年７月24日に終了する予定です。

5 リモコンボタンの割り当てを行います。

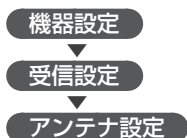
- くわしい操作方法については P.41 の手順４以降を参照してください。
- 現在の割り当てでよければ、[完了] を選んで を押してください。

テレビの設定

BS デジタル放送・CS デジタル放送用アンテナの電源設定

BS デジタル放送と CS デジタル放送で使用するパラボラアンテナの電源供給の方法を設定します。

1 メニュー を押します。

2 メニューを以下の通り進みます。

3 [電源供給] を選んで 決定 を押します。

4 電源の供給方法を選んで 決定 を押します。

入	本機からパラボラアンテナに電源を供給します。アンテナが正しく設置されているのに受信できない場合はこちらを試してください。
切	本機からはパラボラアンテナに電源を供給しません。ケーブルテレビや共同アンテナで受信している場合や、すでに他の機器からアンテナに電源を供給している場合はこちらを選んでください。

※ 本機からパラボラアンテナへ電源を供給している場合、本機の電源を切ると同時にアンテナへの電源供給も遮断されます。本機以外のテレビでも BS デジタル放送・CS デジタル放送を見る場合は、個別に電源供給の設定を行ってください。

アナログ放送の周波数調節

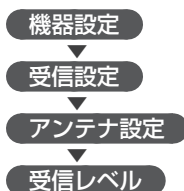
アナログ放送では、受信状態が良くない場合に周波数を調整することで、画面の映りを改善できる場合があります。

※ 地上および BS のアナログテレビ放送は、2011 年 7 月 24 日に終了する予定です。

1 周波数を変更したいチャンネル（アナログ放送）に合わせます。

2 メニュー を押します。

3 メニューを以下の通り進みます。

4 放送波を確認して 決定 を押します。

➡ 設定画面が表示されます。

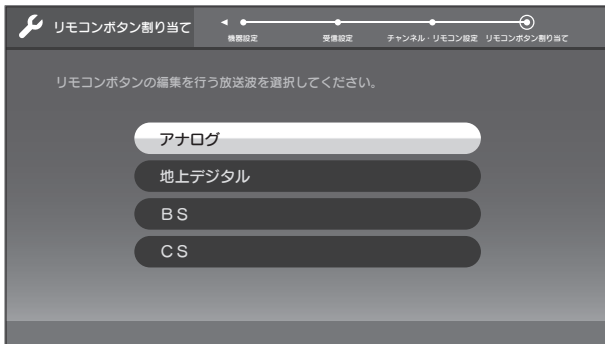
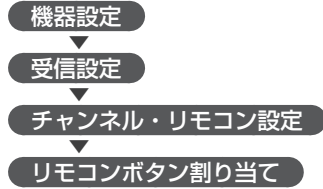
5 画面の映りを見ながら ◀ ▶ で調節して 決定 を押します。

テレビの設定

リモコンボタンの割り当て変更

リモコンの番号ボタンにお好きな放送局を割り当てることができます。

1 メニュー を押します。

2 メニューを以下の通り進みます。

3 割り当てを変更する放送波を選んで 決定 を押します。

4 割り当てを変更します。

放送波によって手順が異なります。

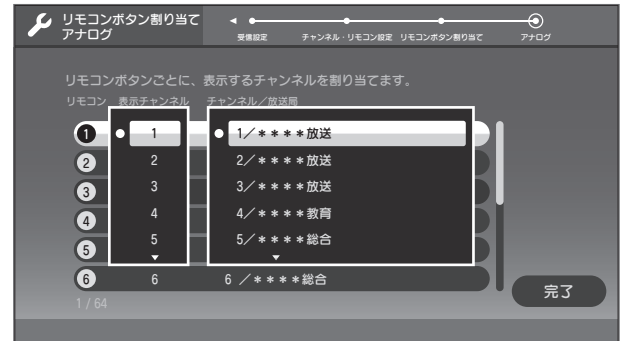
■ 地上デジタル／ BS デジタル／ CS デジタル放送の場合

①割り当てを変更したい番号ボタンを選んで 決定 を押します。

※ 画面上、[リモコン] の列が番号ボタンにあたります。

②割り当てたい放送局を選んで 決定 を押します。

③必要に応じて上記 ①〜② の手順を繰り返します。

■ アナログ放送の場合

※ 上図は説明用の画面です。実際の画面表示とは異なります。

①割り当てを変更したい番号ボタンを選んで 決定 を押します。

※ 画面上、[リモコン] の列が番号ボタンにあたります。

②表示チャンネルの番号を選んで 決定 を押します。

※ 表示チャンネルとは、チャンネルを切り換えたときに画面に表示される番号のことです。

③割り当てたい放送局を選んで 決定 を押します。

④必要に応じて上記の手順 ①〜③ を繰り返します。

5 [完了] を選んで 決定 を押します。

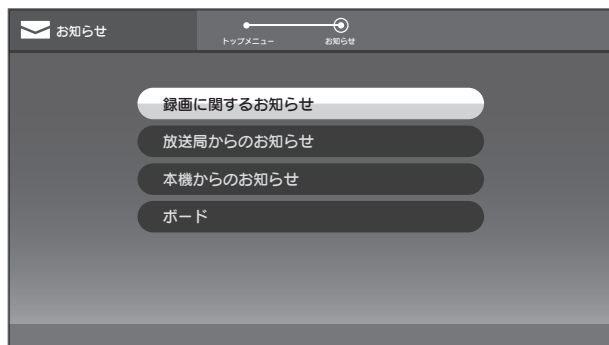
➡ 割り当ての変更が確定します。

番組画面に戻り、割り当てを変更した番号ボタンを押して、指定した放送局が表示されるか確認してください。

お知らせの確認

予約録画に失敗した場合の理由や、デジタル放送の放送局からのお知らせ、本機のソフトウェア更新情報などを確認することができます。

1 メニュー を押します。

2 [お知らせ] を選んで 決定 を押します。

3 確認するお知らせを選んで 決定 を押します。

録画に関するお知らせ	予約録画が失敗した理由を確認できます。
放送局からのお知らせ	放送局から送信されるお知らせです。放送局の新規開設や周波数の変更などの情報があります。
本機からのお知らせ	本機に関するお知らせです。本機のソフトウェアの更新情報などがあります。 本機のソフトウェアは放送波を通じて更新されます。
ボード	CS デジタル放送の一部のチャンネルが提供しているボード（掲示板）です。 確認するには、放送波を CS デジタル放送に切り換えてから上記の手順を行ってください。

➡ お知らせが表示されます。

機器情報の確認

本機のソフトウェアバージョン、B-CAS カード、接続しているハードディスクの情報を確認します。

1 メニュー を押します。

2 [機器設定] を選んで 決定 を押します。

3 [機器情報] を選んで 決定 を押します。

ソフトウェアバージョン	本機に内蔵されているソフトウェアのバージョンです。
USB 接続機器	本機に接続されているハードディスクの情報です。
MAC アドレス	ネットワーク上の識別番号です。
B-CAS 情報	B-CAS カードの情報です。

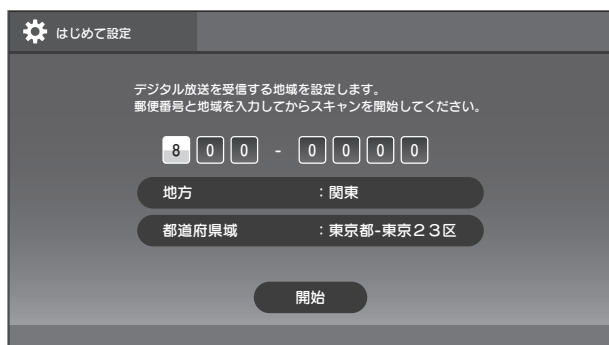
テレビの設定

初回設定のやり直し

本機のお買い上げ後、最初に行った設定(はじめて設定)をやり直すことができます。

1 メニュー を押します。

2 [機器設定] を選んで 決定 を押します。

3 [はじめて設定] を選んで 決定 を押します。

➡ 以降の操作は「セットアップガイド」を参照してください。

お買い上げ時の状態に戻す（初期化）

本機をお買い上げ時の状態に戻します。

チャンネルの設定、番組表、録画予約など、録画済みの番組を除くすべての設定が消去されます。

※ ハードディスクを初期化する場合は P.29 を参照してください。

1 メニュー を押します。

2 [機器設定] を選んで 決定 を押します。

3 [設定初期化] を選んで 決定 を押します。

4 [はい] を選んで 決定 を押します。

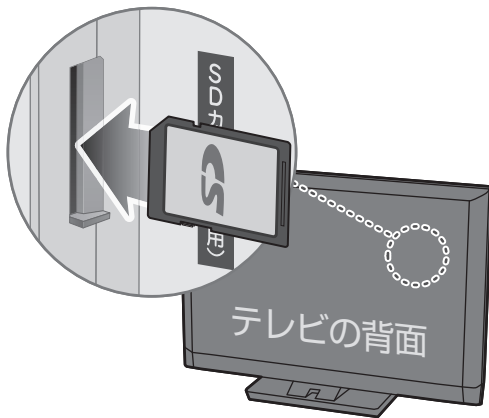
➡ 初期化が完了すると、はじめて設定の画面が表示されます。「セットアップガイド」の手順にそって再度設定を行ってください。

写真を見る

デジタルカメラなどで撮影した写真データを本機の画面で見ることができます。写真データが保存されている SD メモリーカードを本機に挿入して再生します。

以下の写真データに対応しています。

記録メディア	SD メモリーカード SDHC メモリーカード
解像度	最大 : 8192 × 8192 ピクセル 最小 : 16 × 16 ピクセル
ファイル形式	JPEG ※動画ファイルは再生できません。
ファイルシステム	FAT32

1 写真データが保存されている SD メモリーカードを本機のスロットに挿入します。

※ 写真データのバックアップを取っておいてください。

※ カードによっては読み取れない場合があります。

2 ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ を押します。

➡ サブメニューが表示されます。

3 [写真] を選んで 決定 を押します。

➡ 写真の一覧の画面（右のページ）が表示されます。

写真表示中の操作について

■ 写真表示中の操作は、「操作ガイド」が表示されているときに使用できます。「操作ガイド」はリモコンの方向ボタンを押すと表示されます。

■ 画面上の表示サイズを変更することはできません。また、写真によっては画面の上下や左右に黒い帯が表示されます。

■ 本機で画質や解像度などを変更することはできません。

写真一覧の画面

1 枚ずつ選んで見る

表示する写真を選んで 決定 を押します。

※ フォルダを選んだ場合は、そのフォルダ内の写真一覧が表示されます。

※ 写真の表示中は、方向ボタンの ◀ で前、▶ で次の写真に切り換えることができます。

連続して見る（スライドショー）

①最初に表示する写真を選んで 決定 を押します。

②写真の表示中に 決定 を押します。

➡ 現在の写真が一定時間表示された後、次の写真を順番に表示します。

写真の表示中は、方向ボタンの ◀ で前、▶ で次の写真に切り換えることができます。

終了する

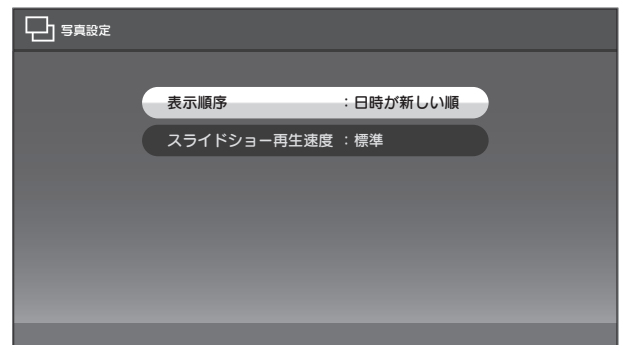
戻る を押します。

➡ 写真の表示中は、写真一覧の画面に戻ります。写真一覧の画面では、1 つ前の画面または番組画面に戻ります。

表示方法を設定する

写真一覧の表示順やスライドショーでの 1 枚あたりの表示時間を設定できます。

①写真一覧の画面（上記）で 青 を押します。

➡ 設定画面が表示されます。

②設定内容を変更します。

項目	説明
表示順序	写真一覧の表示を、撮影日時または写真の名前（ファイル名）の昇順／降順に切り換えます。
スライドショー再生速度	スライドショーで 1 枚あたりに表示する時間を選びます。

パソコンモニターとして使う

接続する

パソコンの映像を本機に表示する場合の接続例です。お使いのパソコンの出力端子に応じて使用するケーブルが異なります。

※ 下記の接続方法を参考にしながら、接続するパソコンの取扱説明書を確認のうえ、正しく接続してください。
※ 接続するパソコンによっては正常に動作しない場合があります。

HDMI ケーブルと音声ケーブルで接続する

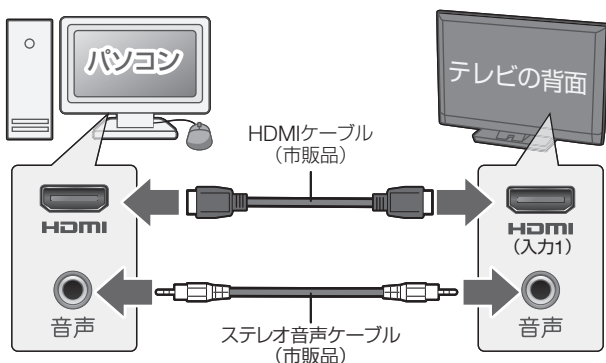
HDMI ケーブルで映像を、ステレオ音声ケーブルで音声を伝送します。かならず HDMI ケーブルを本機側の HDMI 端子（入力 1）に接続してください。

※ 本機の [HDMI1 音声入力](P.37) を [PC モード] にしてください。

HDMI ケーブルで接続する

HDMI ケーブル 1 本でパソコンからの映像と音声を伝送します。

※ HDMI 端子(入力 1)に接続する場合は、本機の [HDMI1 音声入力](P.37)を[AV 機器モード] にしてください。

対応解像度		
640 × 480	800 × 600	1024 × 768
1280 × 768	1360 × 768	

単位：ピクセル @60Hz

アナログ RGB ケーブルと音声ケーブルで接続する

アナログ RGB ケーブル（ミニ D-sub 15pin）で映像を、ステレオ音声ケーブルで音声を伝送します。

対応解像度		
640 × 480	800 × 600	1024 × 768
1280 × 768	1360 × 768	

単位：ピクセル @60Hz

パソコン画面の表示

パソコンの接続が完了したら、本機の画面にパソコンの画面を表示します。

1 パソコンの電源を入れます。

2 本機の電源を入れて、入力切換 を押します。

➡ 入力の一覧が表示されます。

3 パソコンを接続した入力を選んで を押します。

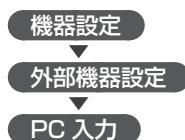
HDMI ケーブルで接続した場合は [HDMI] を、アナログ RGB ケーブルで接続した場合は [PC 入力] を選んでください。

➡ パソコンの画面が表示されます。

表示位置の調節

アナログ RGB ケーブルで接続している場合、画面上の表示位置を水平・垂直方向に調節できます。

1 パソコンの画面を表示します。

2 メニュー を押して、以下の通り進みます。

3 設定内容を変更します。

項目	説明
設定をリセットする	下記の設定項目で変更した内容を破棄して、変更前の状態に戻します。
水平位置の変更	画面の表示位置を左右に移動します。
垂直位置の変更	画面の表示位置を上下に移動します。

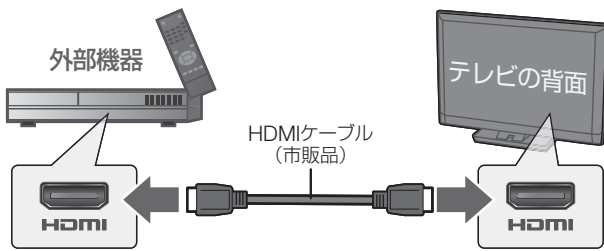
外部機器を接続する

外部機器の映像や音声を本機で出力する場合の接続例です。接続する機器の出力端子に応じて使用するケーブルが異なります。

※ 下記の接続方法を参考にしながら、接続する機器の取扱説明書を確認のうえ、正しく接続してください。
※ 接続する機器によっては正常に動作しない場合があります。

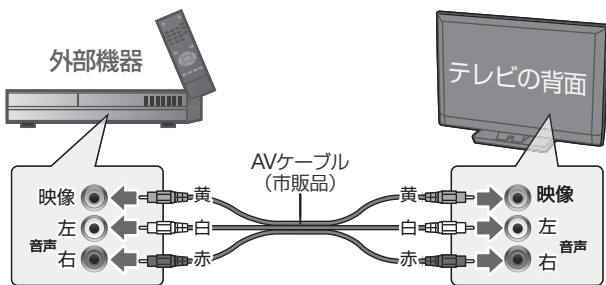
再生機器やケーブルテレビと接続する

HDMI ケーブルで接続する(BD/DVDプレーヤーなど)

HDMI ケーブル 1 本で映像と音声が伝送されます。

※ HDMI 端子(入力 1)に接続する場合は、本機の [HDMI1 音声入力](P.37)を[AV 機器モード] にしてください。

対応解像度		
720 × 480i	720 × 480p	1280 × 720p
1920 × 1080i	1920 × 1080p	単位：ピクセル

コンポジット端子で接続する(ビデオやケーブルテレビなど)

端子とケーブルの色を合わせて接続してください。

※ 接続する機器の音声出力端子が1つしかない場合は、白の端子だけを接続してください。この場合、音声は片方のスピーカーからのみ出力されます。

接続した機器の映像を表示するとき

本機の電源を入れてから 入力切換 を押して、接続した機器の入力に切り換えます。
接続した機器の電源が入っていない場合や、映像の表示が停止されている場合などは、画面に何も表示されませんので注意してください。

音声出力機器と接続する

スピーカー（光デジタル音声対応）と接続する

光デジタル音声出力に対応したスピーカーを接続できます。

音声形式の設定が必要です

スピーカーが対応している音声形式に応じて、本機から出力する音声形式を変更する必要があります。
接続が完了したら、本機の [デジタル音声出力] (P.36)で音声形式を選んでください。

スピーカー・ヘッドホンを接続する

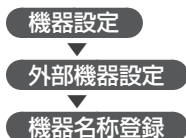
φ 3.5 ミニジャック端子を持つスピーカーやヘッドホンを接続できます。

※ ヘッドホン端子の抜きさしは、音量を落としから行ってください。

入力の名称を変更する

入力切換 を押したときに表示される入力信号の名前を、接続している機器に合わせて変更することができます。

1 メニュー を押します。

2 メニューを以下の通り進みます。

3 変更する項目を選んで 決定 を押します。

ビデオ入力	本機背面の「ビデオ入力」に接続された機器の入力です。
HDMI1	本機背面の「HDMI 入力 1」に接続された機器の入力です。
HDMI2	本機背面の「HDMI 入力 2」に接続された機器の入力です。
PC 入力	本機背面の「パソコン入力」に接続された機器の入力です。

4 設定内容を変更して 決定 を押します。

以下のいずれかの名称に変更できます。

- ビデオ
- コンポーネント
- HDMI
- DVD
- BD（ブルーレイ）
- ゲーム
- VHS
- HDDレコーダー
- ケーブル TV
- PC

こんなときは？

映像や音声が出なくなったり、本機の操作に困ったときなどは、以下の表で症状から調べてください。

	症状	考えられる原因・対処法
受信	すべてのチャンネルが映らない。	• 本機にアンテナ線が正しく接続されているか確認してください。 • お住まいのアンテナを確認してください。地上デジタル放送はUHF アンテナ、BS デジタル放送や CS デジタル放送には対応のパラボラアンテナの設置が必要です。 • アンテナの向きによっては受信しにくい場合があります。アンテナの調整をする場合は、専門業者にお問い合わせください。 • チャンネルスキャンが正常に行われていないか、失敗している可能性があります。もう一度、チャンネルスキャンを行ってください。（P.38）
	地上デジタル放送が映らない。	• お使いになる地域が地上デジタル放送の受信エリアであるかどうかを確認してください。 • 地上デジタル放送を受信するためには、UHF アンテナの設置が必要です。また、UHF アンテナを設置している場合でも、アンテナの向きによっては受信しにくい場合があります。アンテナの調整をする場合は、専門業者にお問い合わせください。共同アンテナをお使いか、マンションにお住まいの場合は、管理者または管理会社にお問い合せください。
	BS デジタル放送・CS デジタル放送が映らない。	• BS デジタル放送や CS デジタル放送を受信するためには、対応のパラボラアンテナの設置が必要です。くわしくはアンテナメーカーや電器店などにお問い合わせください。 • パラボラアンテナに電源が供給されていないことが考えられます。本機の [電源供給]（P.40）を［入］にしてください。
	特定のチャンネルが映らない。	• デジタル放送の場合は、映らないチャンネルの受信レベルを確認してください（P.38）。50%以下の場合は、正常に受信できない場合があります。 • 悪天候などの影響で一時的に受信できなくなる場合があります。 • 常に受信状態が悪いチャンネルは、ブースター(増幅器)を設置することで正常に受信できる場合があります。 • 地上デジタル放送で、アナログ放送では見ることができたチャンネルが映らないときは、放送波の発信局が変更されている可能性があります。この場合、アンテナの向きの調整によって改善されることがあります。くわしくはアンテナメーカーや電器店などにお問い合わせください。
	映像が乱れる・止まる。	• 放送中の画面を静止している場合があります。静止を押して現在の画面に戻ってください。 • 天候の影響により、映像が乱れることがあります。 • アンテナの向きが変わっていたり、アンテナの故障が考えられます。アンテナを確認してください。 • アンテナ線の接続がゆるい場合や、アンテナ線のプラグの中にある芯線が折れていたりすると映像が乱れます。アンテナ線の接続を確認してください。 • 本機が通電状態のときに B-CAS カードを抜きさしすると映像が止まります。この場合、電源プラグをコンセントから抜き、B-CAS カードを入れてから電源を入れ直してください。 • 地上デジタル放送やアナログ放送の場合、電波が強すぎても受信が不安定になる場合があります。この場合、本機の [アッテネーター] の設定を [入] にすると改善されることがあります。
	チャンネルスキャンがいつも失敗する。	• お住まいのアンテナやアンテナ線の接続を確認してください。アンテナ線を分波／混合している場合は正しく行われているか確認してください。 • 対応のアンテナが設置されていない場合や、ご使用の地域の電波状況が悪い場合はチャンネルスキャンに失敗します。

	症状	考えられる原因・対処法
受信	引越ししたら映らなくなった。	受信する地域が変わった場合はチャンネルの再設定が必要です。チャンネルスキャン（P.38）を行ってください。
	ケーブルテレビに加入している場合の接続方法は？	【ケーブルテレビチューナーを経由する場合】 ケーブルテレビチューナーの映像・音声出力端子と本機の入力端子を対応するケーブルで接続してください（P.48）。 ※ 接続後は本機の入力切換でケーブルテレビチューナーに接続した入力に切り換えて視聴してください。また、チャンネルの切り換えなどはケーブルテレビチューナーのリモコンで行います。 ※ ケーブルテレビチューナーのアンテナ出力端子から本機の入力端子に接続する場合は、ご加入のケーブルテレビ会社の配信方式がパススルー方式の場合のみ使用できます。 【ケーブルテレビチューナーを経由しない場合】 ご加入のケーブルテレビ会社の配信方式がパススルー方式の場合のみ使用できます。壁面のケーブルテレビのアンテナ端子から本機のアンテナ入力端子につないでください。
	すべての放送波を受信したいが、壁のアンテナ端子が一つしかない。	• はじめに、壁面アンテナ端子がすべての放送波（地上デジタル放送・BSデジタル放送・CSデジタル放送・アナログ放送）のアンテナに接続されているか確認してください。 • すべての放送波に対応している場合、分波器で地上波（地上デジタル放送・アナログ放送）と衛星（BSデジタル放送・CSデジタル放送）にアンテナ線を分けてから、それぞれを本機のアンテナ入力端子につないでください。 ※ 分波器の種類や接続方法などについては電器店などにご相談ください。
チャンネル	チャンネルを順送りしたときの順番がおかしい。	全国ネットに属さない放送局や他府県の放送局などは、リモコンに割り当てられた番号と順番が違う場合があります。
	選局できない番号ボタンがある。	チャンネルが割り当てられていない番号ボタンは反応しません。リモコンボタンにお好きなチャンネルを割り当てることもできます。(P.41)
	チャンネルの切り換えに時間がかかる。	受信した信号を画面上に表示するための処理が必要なため、チャンネルや入力の切り換えに時間がかかる場合があります。
	地上デジタル放送のチャンネル番号がアナログ放送と異なる。	お住まいの地域や放送局によっては異なる場合があります。リモコンボタンにお好きなチャンネルを割り当てることもできます。（P.41）
	データ放送が表示されない。	• データ放送に対応していない番組では表示されません。 • チャンネルを切り換えた直後などは、データの読み込みに時間がかかる場合があります。
画面表示	電源は入っているが、画面に何も映らない。	• B-CAS カードが挿入されているか確認してください。また、挿入方向にも注意してください。 • 外部機器の入力に切り換わっているときは、画面に何も表示されない場合があります。［地デジ］を押して、地上デジタル放送に切り換わるか確認してください。 • チャンネルスキャンが正常に行われていない可能性があります。もう一度、チャンネルスキャンを行ってください。（P.38）

お役立ち情報

	症状	考えられる原因・対処法
画面表示	電源を入れてもすぐに映像が表示されない。	内部処理のため時間がかかる場合があります。本機の［クイック起動］を［入］にすると、起動時間を短縮することができます。(P.18) ※ [クイック起動] が [入] のときは、待機中の消費電力が上がります。
	チャンネル番号が画面から消えない。	画面表示 を押すと表示が消えます。
	メニュー画面が消えない。	メニュー を押すと表示が消えます。
	映りがよくない。	• 天候の影響により、一時的に映像が乱れることがあります。 • 画面の視野角（セットアップガイド）の範囲外から見ると映像が見えにくい場合があります。
	番組によって映像の縦横のサイズが切り換わる。	• 送られてくる映像そのものの縦横比が、4:3 の場合や 16:9 の場合があります。また、一見 4:3 の映像のようでも、16:9 の映像の左右に帯をつけて 4:3 の映像に見せている場合など、番組によって見え方が異なるため、番組が変わるごとに表示が切り換わっているように見えることがあります。 • 画面サイズ（P.33）を変更することで、映像に適した表示に切り換えることができます。 • 本機の [オートワイド設定]（P.33）を [入] にすると、自動的に適切な画面サイズに切り換えることができます。
音声出力	音が出ない。	• 音声が極端に小さかったり、消音になっている可能性があります。 • 外部機器からの音声が出ない場合は、音声のケーブルが正しく接続されているか確認してください。また、HDMI ケーブルで接続している場合は、本機の［HDMI1 音声入力］(P.37）の設定を確認してください。
	外部スピーカー／ヘッドホンを接続したが音が出ない。	• 接続する端子に間違いがないか確認してください。（セットアップガイド） •「光デジタル」に接続したスピーカーから音が出ない場合は、本機の［デジタル音声出力］（P.36）でスピーカーが対応している音声出力形式に設定してください。
	番組内で音声が切り換わらない。	番組が複数の音声で放送されていない場合、音声の切り換えはできません。
番組表	番組表に何も表示されない。 番組情報が表示されない放送局がある	• 番組表は 1 日に 1 回、本機が待機状態のときに自動的に更新されます。また、1 つのチャンネルを一定時間見ることで、その放送局の番組表を取得することができます。 • お買い上げ直後などは、番組表に情報が表示されない場合がありますので、P.12 の方法で番組表の情報を取得してください。
	同じ放送局でチャンネルが複数ある。	• デジタル放送では、1 つの放送局に複数のチャンネルを割り当てることができるため、放送局が同じでも同一時間帯に異なる番組が放送される場合があります。 • 番組表の表示を 1 局 1 チャンネルに切り換えることもできます。(P.14)
録画・再生	予約録画に失敗する。	メニュー を押して、[お知らせ] の [録画に関するお知らせ] で失敗した理由を確認してください。

お役立ち情報

症状		考えられる原因・対処法
録画・再生	予約録画した番組が途中から始まる。	• 録画予約が重複していた可能性があります。本機では2つ以上の番組を同時に録画することができないため、予約が重複した場合は、P.21 のルールにしたがって録画されます。 • 録画開始後に電源ケーブルやハードディスクを接続した場合は、接続した時点から録画が開始されます。このような場合、[お知らせ] の [録画に関するお知らせ] で理由を確認できます。
	予約録画した番組が録画一覧の画面で見当たらない。	予約録画に失敗している可能性があります。メニュー を押して、[お知らせ] の [録画に関するお知らせ] で対象の予約が失敗していないか確認してください。
	番組の先頭から再生されない。	一度再生した番組は、録画一覧で 決定 を押すと、前回停止した時点から再開されます。先頭から再生するには 再生 ▶ を押してください。
写真	写真データが保存されている SD カードを使用しているのに表示されない。	表示できる写真データには条件があります。P.44 を確認してください。
	写真表示中にリモコンが反応しない。	写真の表示中は「操作ガイド」が画面下部に表示されているときにリモコン操作ができます。一度、リモコンの方向ボタンを押して、「操作ガイド」を表示してから操作してください。
	写真の表示を拡大できない。	画面にあわせて自動的に拡大・縮小されます。任意のサイズに拡大／縮小することはできません。
テレビ本体・付属品	電源が入らない。	• 電源ケーブルの接続を確認してください。コンセント側と本機側の両方がしっかりとさし込まれているか確認してください。 • リモコンで電源を入れられない場合は、本体側面の電源ボタンを押してください。電源が入る場合はリモコンの問題が考えられます。
	テレビ本体が熱くなる。	本体内部から発生する熱を逃がすため、本体が熱くなる場合があります。
	電源ランプが赤色に点滅する。	デジタル放送では放送波を通じて、テレビ内部のソフトウェアを更新する場合があります。ソフトウェアの更新中は電源ランプが赤色に点滅します。 ※ ソフトウェアの更新中は本機の操作ができません。更新が完了するまでお待ちください。
	リモコンでの操作ができない。	• リモコンは本機の受光範囲内（セットアップガイド）で操作してください。また、本機のリモコン受光部の前に障害物があると、反応しない場合があります。 • リモコンの電池が消耗すると反応しない場合があります。電池を交換してみてください。 • リモコンの電池が正しくセットされているか確認してください。
	B-CAS カードを紛失／破損／汚損してしまった。	B-CAS カスタマーセンターにお問い合わせください。 株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンター 【電話】0570-000-250【IP 電話】045-680-2868 10：00 ～ 20：00（年中無休） 【ホームページ】http://www.b-cas.co.jp/
	アンテナ線が入っていない。	本製品にアンテナ線は付属していません。アンテナ線は F 型コネクタのついたものを準備してください。

エラーメッセージ一覧

本機で表示される主なエラーメッセージとその原因です。50 音順に並んでいます。

頭文字	メッセージ	対象の放送波／機能	メッセージが表示された理由
あ行	アンテナ電源供給にエラーが発生したため、設定を［切］にしました。本機とアンテナとの接続を確認してください。（E209）	BS デジタル放送 CS デジタル放送	パラボラアンテナの電源がすでに他の機器から供給されているにもかかわらず、本機から電源を供給しようとしたため。
	お使いのハードディスクは初期化されていません。録画するには初期化が必要です。	地上デジタル放送 BS デジタル放送 CS デジタル放送	接続したハードディスクが初期化されていないため。 ※ お買い上げ後、付属のハードディスクをはじめて使用するときはかならず表示されます。[はい] を選んでください。
	オフタイマーにより、まもなく電源が切れます。	すべて	[オフタイマー](P.17)を設定した場合、その実行前に表示されます。
か行	この機器には対応していません。	録画番組再生 写真再生	対応していないハードディスクが接続されているため。 対応していない SD メモリーカードが挿入されているため。
	この信号には対応していません	外部入力	本機が対応していない外部機器が接続されているため。
	このチャンネルとの契約期限が切れています。このチャンネルのカスタマーセンターにお問い合わせください。	BS デジタル放送 CS デジタル放送	視聴契約が必要なチャンネルとの契約期間が経過しているため。
	このチャンネルは契約されていません。このチャンネルのカスタマーセンターにお問い合わせください。	BS デジタル放送 CS デジタル放送	視聴契約をしていないチャンネルに切り換えたため。
	このデータは受信できません。（E401）	データ放送	本機が対応していないデータを受信したため。
	このボタンにはチャンネルが割り当てられていません。	全放送	チャンネルが割り当てられていないボタンを押したため。
	これ以上、新たに録画できません。	地上デジタル放送 BS デジタル放送 CS デジタル放送	ハードディスクに保存できる最大番組数（500 番組）を超えるため。
さ行	視聴年齢が制限されている番組です。［視聴年齢制限］を設定することで視聴できます。	地上デジタル放送 BS デジタル放送 CS デジタル放送	選局した番組に視聴制限がかかっているため。[視聴年齢制限](P.20)で暗証番号を登録後、暗証番号を入力すると視聴できます。
	時刻情報がありません。 デジタル放送を視聴して、時刻情報を取得してください。	すべて	本機に時刻情報がない状態で、オンタイマーを設定しようとしたため。時刻情報はデジタル放送を 30 秒以上視聴すると取得できます。 ※ 本機をアナログ放送のみでご利用の場合は、オンタイマーなどの一部機能が使用できません。
	受信できるチャンネルが見つかりませんでした。 アンテナ線の接続や受信状況を確認して、 再度スキャンを実行してください。	地上デジタル放送 BS デジタル放送 CS デジタル放送	• お住まいのアンテナやアンテナ線の接続を確認してください。アンテナ線を分波／混合している場合は正しく行われているか確認してください。 • 対応のアンテナが設置されていない場合や、ご使用の地域の電波状況が悪い場合はチャンネルスキャンに失敗します。

頭文字	メッセージ	対象の放送波／機能	メッセージが表示された理由
さ行	接続できませんでした。	データ放送	何らかの理由で接続できなかったため。しばらく時間をあけてから再度、接続してください。
た行	データの表示に失敗しました。（E402）	データ放送	データの受信には成功したものの、データそのものに問題があり表示できないため。
	データを受信できません。（E400）	データ放送	データを受信できないため。 チャンネルを再選局してから再度 d データ を押してください。
	天候の影響またはアンテナ線の接続状態に問題があるため降雨対応放送に切り換えます。（E201）	BS デジタル放送 CS デジタル放送	悪天候やアンテナ線の接続不良が原因で正常に受信できないため。降雨対応放送では、画質や音質が落ちたりする場合があります。
な行	入力信号がありません。機器の接続を確認してください。	外部入力	外部入力の画面で、外部機器からの信号がないため。 外部機器の電源や接続を確認してください。
は行	ファイルが見つかりませんでした。	写真再生	SD メモリーカードに読み込めるデータがないため。
	放送波を受信できなかったため、録画できませんでした。	録画番組再生	再生位置が受信不良などで録画できなかった部分にさしかかったため。
	放送を受信できません。 天候の影響またはアンテナの受信や接続状態に問題がある可能性があります。（E202）	全放送	悪天候やアンテナ線の接続不良が原因で正常に受信できないため。
ま行	未契約の放送のため、録画できませんでした。	録画番組再生	再生位置が契約していない有料放送の部分にさしかかったため。
	無操作電源オフにより、まもなく電源が切れます。	すべて	[無操作電源オフ](P.19) が [入] の場合、その実行前に表示されます。
	無信号電源オフにより、まもなく電源が切れます。	すべて	[無信号電源オフ](P.19) が [入] の場合、その実行前に表示されます。
ら行	録画できない放送のため、録画できませんでした。	録画番組再生	再生位置がデジタル放送のコピー制限などで再生できない部分にさしかかったため。
	録画できない放送のため、録画を開始できません。	地上デジタル放送 BS デジタル放送 CS デジタル放送	デジタル放送のコピー制限などで録画できない番組を録画しようとしたため。

索引

アルファベット

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

や行

お問い合わせ先

●本製品について困ったときは、弊社**ユーザーサポートセンター**にお問い合わせください。

0120-727-231（無料）

受付時間 10:00〜18:00（年末年始と祝日を除く）

携帯電話をご利用の場合
ナビダイヤル 0570-064-246

フリーダイヤル、ナビダイヤルをご利用いただけない場合
FAX 06-6633-2992

※フリーダイヤル以外の場合、通話料がかかります。

● **地上デジタル放送全般**についての質問は **Dpa（社団法人デジタル放送推進協会）**にお問い合わせください。ウェブサイト（http://www.dpa.or.jp/）

● **アンテナ**について困ったときはお近くの**電器店**にお問い合わせください。

● **B-CAS カード**に関しては **B-CAS カスタマーセンター**にお問い合わせください。

株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ　カスタマーセンター
電話：0570-000-250　IP 電話：045-680-2868
ホームページ（http://www.b-cas.co.jp/）

受付時間 10:00〜20:00（年中無休）